

215J-98

283  
15

第八高等學校一覽

第一年度

自明治四十一年  
自明治四十二年







第七章 懲戒

第八章 服制

第五 生徒心得

第六 細則

一 生徒心得細則

二 校章規程

三 服裝ニ關スル規程

四 通學規程

五 授業料納付期日

六 分課事務規程

七 教育事務規程

八 教官服務規程

九 事務員服務規程

三五

三五

三七

三八

三八

三九

四〇

四〇

四四

四五

四五

五二

五六

五八

十 圖書規程

十一 圖書閱覽室細則

第七 教科用書目

第八 職員

第九 生徒

一 生徒氏名

二 生徒道府縣別現在表

三 生徒年齡表

六〇

六三

六六

六九

七三

七三

八四

八八



第一學年曆

明治四十一年

九月十一日 (金曜)

秋分日

宣誓式、第一學期始

十月十七日 (土曜)

十月三日 (火曜)

秋季皇靈祭

十一月三日 (火曜)

神嘗祭

十一月二十三日 (月曜)

天長節拜賀式

十二月二十四日 (木曜)

新嘗祭

同 二十五日 (金曜)

第一學期終

明治四十二年

冬季休業始

一月七日 (木曜)

冬季休業終

一月八日 (金曜)

第二學期始

學年曆

六八  
六四  
五三  
四二  
三〇



一月三十日 (土曜) 孝明天皇祭  
 二月十一日 (木曜) 紀元節拜賀式  
 春分日 春季皇靈祭  
 三月三十一日 (木曜) 第二學期終  
 四月一日 (金曜) 春季休業始  
 同 七日 (水曜) 春季休業終  
 同 八日 (木曜) 第三學期始  
 七月十日 (土曜) 第三學期終  
 同 十一日 (日曜) 夏季休業始  
 九月十日 (土曜) 夏季休業終

本學年授業日數豫定表

計	曜日						計
	土曜	金曜	木曜	水曜	火曜	月曜	
八六	一四	一五	一五	一四	一四	一四	第一學期
六八	一一	一二	一〇	一二	一一	一二	第二學期
八一	一四	一四	一四	一三	一三	一三	第三學期
二三五	三九	四一	三九	三八	三八	三九	計



## 第二 沿革略

明治四十年政府ニ於テ高等學校増設ノ計劃アルヤ愛知縣ハ校地及校舎ノ寄附ヲ願ヒ出テ政府之ヲ納レ本校ヲ設置セリ其沿革事項ノ大略左ノ如シ

明治四十一年

三月勅令第六十八號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制ヲ改正シ本校ヲ設置セラレ勅令第六十九號ヲ以テ本校職員ノ定員ヲ定メラル  
四月文部省令第十四號ヲ以テ本校大學豫科設置授業開始ノ件ヲ定メラレ同時ニ本校ノ位置ヲ愛知縣名古屋市ニ定メラル  
同月文部省内ニ於テ事務ヲ開始シ文部省視學官大島義脩校長事務取扱ヲ命ゼラル  
同月文部大臣ノ許可ヲ受ケ學則ヲ定ム

六月文部省視學官大島義脩第八高等學校長兼文部省視學官ニ任ゼラル

同月生徒二百五十一人ノ入學ヲ許可ス

七月校長大島義脩兼官ヲ免ゼラル

同月二十六日事務所ヲ愛知縣會議事堂内ニ移ス

九月元愛知縣立第一中學校校地校舎ヲ使用シテ開校ス

同月文部大臣ノ許可ヲ受ケ學則中ニ服制ノ件ヲ追加ス

同月生徒心得及諸細則ヲ定ム

同月名古屋市東區小川町妙本寺外六ヶ寺ニ於テ本校代用學寮ヲ開始ス







生徒監 (明治四十年勅令第  
二百四十六號ヲ以テ追加)

助教授

書記

第七條 校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ受ケ校務ヲ掌理

シ所屬職員ヲ監督ス (明治三十二年勅令  
第百十七號ヲ以テ改正)

第八條 教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ

掌ル (明治三十二年勅令第百十七號同  
勅令第百四十六號ヲ以テ改正)

第九條 生徒監ハ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

生徒監ハ校長ノ指揮ヲ承ケ專ラ生徒ノ訓育ヲ掌ル (明治四十年勅令第百  
四十六號ヲ以テ改正)

第十條 書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ従事ス (明治三十  
六年勅令

第二百三十號同四十年勅令  
第二百四十六號ヲ以テ改正)

米

米

米

米

米

第十七條 專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得

サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部  
大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セ  
シムルコトヲ得

四 文部省直轄諸學校職員定員令(抄) (明治三十五年  
勅令第九十九號)

文部省直轄諸學校專任職員ノ定員左ノ如シ

米

米

米

米

米

校長	教授	助教授	助教授	訓導	保母	助手	書記
一人	三人		二人				四人

(明治四十一年勅令第  
六十九號ヲ以テ改正)

米

米

米

米

米

五 帝國大學及文部省直轄諸學校雇外國人ニ關スル規定 (明治二十六年  
勅令第九十六號)



帝國大學及文部省直轄諸學校ニ於テ學科教授ノ必要アルトキハ帝國大學總長及直轄諸學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ雇外國人ヲシテ教官ノ職務ニ當ラシムルコトヲ得

六 高等學校大學豫科學科規程(抄)

明治三十三年  
文部省令第十三號

明治二十七年文部省令第十八號高等學校ニ設置スル大學豫科ノ學科規程ヲ左ノ通改正ス

高等學校大學豫科學科規程

第一條 高等學校大學豫科ノ學科ヲ分チテ第一部、第二部及第三部トス

第一部ノ學科ハ法科大學及文科大學志望者ニ第二部ノ學科ハ醫科大學ノ藥學科、工科大學、理科大學、理工科大學及農科大學志望者ニ第三部ノ學科ハ醫科大學志望者ニ課スルモノトス(明治三十五年文部省令第十號ヲ以テ改正)

第二條 第一部ノ學科ハ倫理、國語及漢文、外國語、歷史、論理及心理、法學、通論、體操トス

前項ノ學科ノ外文科大學志望者ニハ經濟通論ヲ課ス

前二項ノ學科中文科大學哲學科志望者ニハ論理及心理ヲ缺キ數學、物理ヲ課ス

外國語ハ英語、獨語及佛語ノ中ニ就キ二種ヲ選ハシム

第一項ノ學科ノ外法科大學志望者ニハ隨意科トシテ羅旬語ヲ課スルコトヲ得

第三條 第二部ノ學科ハ倫理、國語、外國語、數學、物理、化學、地質及鑛物、圖書、體操トス

前項ノ學科ノ外醫科大學ノ藥學科、理科大學ノ動物學科、植物學科、地質學科並ニ農科大學志望者ニハ動物及植物ヲ課シ工科大學及理工科大學ノ土木工學科、機械工學科、電氣工學科、採鑛及冶金學科、



工科大學ノ造船學科、建築學科、理科大學及理工科大學ノ數學科、物理學科、理科大學ノ星學科並ニ農科大學ノ農學科、農藝化學科、林學科志望者ニハ測量ヲ課ス(明治三十五年文部省令第十號ヲ以テ改正)

外國語ハ英語ノ外獨語又ハ佛語ヲ選ハシム但シ工科大學及理工科大學ノ電氣工學科、應用化學科、製造化學科、採鑛及冶金學科並ニ農科大學志望者ハ必ス獨語ヲ選フヘキモノトス

第一項ノ學科ノ外醫科大學ノ藥學科、理科大學ノ動物學科、植物學科、地質學科並ニ農科大學ノ獸醫學科志望者ニハ隨意科トシテ羅旬語ヲ課スルコトヲ得(上同)

第四條 第三部ノ學科ハ倫理、國語、外國語、羅旬語、數學、物理、化學、動物及植物體操トス

外國語ハ獨語ノ外英語又ハ佛語ヲ選ハシム

第五條 各部各學科ノ每週授業時數ハ左ノ如シ

第一部

學科	學年		
	第一	第二	第三
倫理			一
國語及漢文	六	五	四
英語	(九)	(九)	(八)
獨語	(九)	(九)	(八)
佛語	(九)	九)	(八)
歷史	三	三	三
論理及心理		二	
法學通論			二
經濟通論			(二)
體操	三	三	三



計	三〇	三一	三二 一九
---	----	----	----------

備考

表中( )ハ選擇科目ノ時數ヲ表シ〔 〕ハ文科大學志望者ニノミ課スル時數ヲ表ス

文科大學哲學科志望者ニハ第三年ニ於テ國語ヲ缺ク且ツ之ニ課スヘキ數學、物理ノ授業時數左ノ如シ

學科	學年		
	第一	第二	第三
數學		二	
物理			二

英語ヲ以テ入學シ法科大學ノ獨逸法又ハ佛蘭西法ヲ選修スル法律學科並ニ文科大學ノ獨逸文學科、佛蘭西文學科ニ志望スル者ニ對シテハ外國語ノ授業時數ヲ左ノ如ク變更ス

學科	學年		
	第一	第二	第三
英語	四	四	四
獨語又ハ佛語	一四	一四	一二

隨意科トシテ法科大學志望者ニ課スヘキ羅句語ノ授業時數左ノ如シ

學科	學年		
	第一	第二	第三
學科			二

第二部

學科	學年		
	第一	第二	第三
倫理			一
國語	三		
英語	八	七	四
獨語又ハ佛語	八	七	四



數	學	五	四	六
物	理		三	三
化	學		三	講義三 實驗二
地質及鑛物				二
圖	畫	四	四	二
體	操	三	三	三
計		三一	三一	三〇

第三年ニ於テ醫科大學ノ藥學科、理科大學ノ動物學科、植物學科、地質學科並ニ農科大學ノ農學科、農藝化學科、獸醫學科志望者ニハ數學ヲ缺キ工科大學及理工科大學ノ土木工程學科、機械工學科、工科大學ノ造船學科、建築學科、理科大學及理工科大學ノ數學科、物理學科及理科大學ノ星學科志望者ニハ化學ノ實驗ヲ缺キ理科大學ノ各

學科、理工科大學ノ數學科、物理學科、純正化學科及農科大學志望者ニハ圖書ヲ缺キ農科大學林學科志望者ニハ英語ヲ缺ク(明治三十五年文部省令第十號ヲ以テ改正)

醫科大學ノ藥學科、理科大學ノ動物學科、植物學科、地質學科並ニ農科大學志望者ニ課スヘキ動物及植物ノ授業時數左ノ如シ(同上)

學科	學年	第一年	第二年	第三年
動物及植物				四

工科大學及理工科大學ノ土木工程學科、機械工學科、電氣工學科、探鑛及冶金學科、工科大學ノ造船學科、建築學科、理科大學及理工科大學ノ數學科、物理學科、理科大學ノ星學科並ニ農科大學ノ農學科、農藝化學科、林學科志望者ニ課スヘキ測量ノ授業時數左ノ如シ

學科	學年	第一年	第二年	第三年
----	----	-----	-----	-----



測量

三

隨意科トシテ醫科大學ノ藥學科、理科大學ノ動物學科、植物學科、地質學科並ニ農科大學ノ獸醫學科志望者ニ課スヘキ羅旬語ノ授業時數左ノ如シ(上同)

學科	學年	第一	第二	第三
羅旬語				
	第一	一	二	三
	第二			
	第三			

第三部

學科	學年	第一	第二	第三
倫理				
	第一	一	一	一
國語				
	第一	三	三	三
獨語				
	第一	一三	一三	一〇
英語又ハ佛語				
	第一	三	三	三

獨語ヲ以テ入學シタル者ニ對シテハ外國語ノ授業時數ヲ左ノ如ク變更ス

學科	學年	第一	第二	第三
羅旬語				
	第一	三	二	二
數學				
	第一	三	二	二
物理學				
	第一		三	三
化學				
	第一		三	三
動物及植物				
	第一	四	三	三
體操				
	第一	三	三	三
計				
	第一	二九	三〇	三一



第六條 前條ノ各學科ハ生徒卒業後分科大學各學科ノ授業ヲ受クルニ足ルヘキ豫備ノ程度ヲ以テ標準トナスヘシ

第七條 學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ分科大學某科志望者ニ課スヘキ一學科若ハ數學科ヲ其學校ニ置カサルコトヲ得

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

七 高等學校大學豫科( )入學資格ニ關スル規程(抄) (明治四十一年文) (部省令第九號)

高等學校大學豫科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當シ且體格検査ヲ受ケ之ニ合格シタル者タルヘシ

- 一 中學校ヲ卒業シタル者
- 二 專門學校入學者檢定規程ニ依ル試驗檢定ニ合格シタル者
- 三 專門學校入學者檢定規程第八條第一號ノ指定ヲ受ケタル者  
但シ某學校ノ入學ニ限り指定ヲ受ケタル者ヲ除ク

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

八 文部省直轄學校外國人特別入學規程 (明治三十四年文) (部省令第十五號)

第一條 外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科ノ一科若ハ數科ノ教授ヲ受ケントスル者ハ外務省在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限り特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條 前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若ハ學校長ニ願出ツヘシ

第三條 帝國大學總長若ハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限り之ヲ許可スヘシ但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限ニアラス

第四條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證



明書ヲ受ケントスル者ニハ試験ノ上之ヲ附與スヘシ

第五條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試験料、入學料及授業料ヲ徴收セサルコトヲ得

第六條 帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

附 則

第七條 本令施行ノ際文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス在學スル外國人ハ本令ニ依リ入學シタルモノト看做ス

第八條 明治三十三年文部省令第十一號文部省直轄學校外國委託生ニ關スル規程ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

九 第八高等學校ニ大學豫科設置(明治四十一年文部省令第十四號)

第八高等學校ニ大學豫科ヲ設置シ明治四十一年九月十一日ヨリ授

業ヲ開始ス

十 文部省直轄諸學校生徒ノ學校長ノ許可ナクシテ受ケタル

他ノ直轄諸學校入學試験無効ニ關スル規定(明治三十八年文部省令第十八號)

文部省直轄諸學校ノ生徒ニシテ豫メ學校長ノ許可ヲ受ケス他ノ文部省直轄諸學校ノ入學試験ヲ受ケタルトキハ其ノ入學試験ハ無効トス

十一 文部省直轄諸學校ノ二學校以上ニ入學出願者ノ入學ス

ヘキ學校(明治三十六年文部省告示第九十六號)

同一人ニシテ文部省直轄諸學校中ノ二箇以上ノ學校ニ入學ヲ出願シタル者ハ其ノ最前ニ入學ヲ許可セラレタル學校ニ入學スヘキモノトス但シ同時ニ二箇以上ノ學校ニ入學ヲ許可セラレタル者ノ入



學スヘキ學校ハ本人ノ選擇ニ任ス

十二 大學豫科學力檢定規程(明治二十六年  
文部大臣訓令)

高等學校ノ卒業生ニアラスジテ帝國大學分科大學へ入學志願ノ者  
アルトキハ別紙規程ニ依リ大學豫科學力試験ヲ施行スヘシ(明治二十  
八年七月  
十六日名稱訂正  
文部大臣裁定)

大學豫科學力檢定規程

第一 大學豫科學力檢定試験ハ帝國大學分科大學ヨリ其入學志願  
者ノ學力檢定試験執行ノ通告アル場合ニ限り高等學校ニ於テ施  
行スルモノトス

第二 大學豫科學力檢定試験ハ高等學校大學豫科卒業ノ程度ニ據  
ル但官立府縣立中學校又ハ之ト同等ト認ムヘキ公私立中學校ノ  
卒業證書ヲ有セサル者ニハ先ツ中學校ノ學力檢定試験ヲ行フモ

ノトス

第三 大學豫科學力檢定試験ハ毎年七月又ハ九月ニ於テ一回之ヲ  
施行ス

第四 大學豫科學力檢定試験ヲ受ケントスル者ハ受験料金五圓ヲ  
納ムヘシ但既納ノ受験料ハ受験者ノ都合ニ依リ試験ヲ受ケサル  
コトアルモ返付セス

第五 試験合格者ニハ左式ノ證明書ヲ交付スヘシ(證明書式略ス)



### 第四 學 則

#### 第一章 學 科

第一條 本校ノ學科ハ明治三十三年文部省令第十三號所定ノ大學豫科第一部及第二部トス

#### 第二章 學年學期及休業

第二條 學年ハ九月十一日ニ始マリ翌年九月十日ニ終ル

第三條 學年ニ三學期ヲ設ク

第一學期ハ九月十一日ヨリ十二月二十四日ニ至リ第二學期ハ一月八日ヨリ三月三十一日ニ至リ第三學期ハ四月八日ヨリ七月十日ニ至ル

第四條 休業日左ノ如シ

日 曜 日

秋 孝皇靈祭 秋 分 日

神 嘗 祭 十月十七日

天 長 節 十一月三日

新 嘗 祭 十一月二十三日

孝明天皇祭 一月三十日

紀 元 節 二月十一日

春季皇靈祭 春 分 日

冬季休業 十二月二十五日ヨリ翌年一月七日ニ至ル

春季休業 四月一日ヨリ四月七日ニ至ル

夏季休業 七月十一日ヨリ九月十日ニ至ル

#### 第三章 入學及在學

第五條 入學ノ期ハ每學年ノ初トス

第六條 入學ヲ志望スル者ハ入學志望者名票ニ寫眞及檢定料ヲ添



へ本校ニ差出スヘシ

入學志望者名票用紙ハ本校ニ於テ之ヲ交付ス

第七條 檢定料ハ金五圓トス

一旦納付シタル檢定料ハ何等ノ事情アリトモ之ヲ還附セス

第八條 入學志望者ハ其入學後修業セントスル部類ヲ指定スヘシ

指定スヘキ部類ハ左ノ如シ

第一部甲類 英語法科、政治科

第一部乙類 英語文科

第一部丙類 獨語法科、獨語文科

第二部甲類 工科

第二部乙類 理科、農科、醫科ノ内藥學科

入學志望者ハ志望ノ部類二箇以上同一部内ノ類ニ限ルヲ併セ指定スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ志望ノ順位ヲ定ムヘシ

第九條 各部類入學志望者ノ數入學セシムヘキ者ノ數ニ超過スルトキハ選抜試験ヲ行フ

第十條 選抜試験ハ中學校ノ各學科目ニ就キ中學校卒業ノ程度ニ依リ之ヲ施行ス

前項ノ試験科目中一科目又ハ數科目ハ之ヲ缺クコトアルヘシ

第十一條 選抜試験ヲ受ケタル者ハ之ヲ第一部及第二部ニ區分シ試験ノ成績順ニ依リ各部募集ノ總員ト同數ナル人員ヲ選出シ其ノ内ニ就キ左ノ方法ニ依リ入學セシム

一、成績順ニ依リ本人ノ指定スル第一志望類ニ配當ス

二、第一號ノ場合ニ於テ成績相同シキトキハ抽籤ニ依ル

三、第一號第二號ニ依リ配當ノ結果本人ノ指定スル第一志望類已ニ滿員トナリ配當スルコトヲ得サル者ニ就テハ更ニ成績順ニ依リ本人ノ指定スル第二以下ノ志望類ニシテ缺員アル



モノニ配當ス

四、第三號ノ場合ニ於テ成績相同シキトキハ志望類ノ順序ニ依ル  
五、第三號ノ場合ニ於テ成績及志望類ノ順序相同シキトキハ抽籤ニ依ル

六、前數號ニ依リ配當ノ結果本人ノ指定スル志望類悉ク滿員トナリタルトキハ入學スルヲ得サルモノトス

前項ニ依リ配當ノ結果又ハ事故ノ爲入學者ニ缺員ヲ生シタルトキハ前項第一號選出人員以外ニ就キ更ニ前項ノ方法ニ依リ之ヲ補填ス

第十二條 入學ノ許可ヲ受ケタル者ハ指定ノ期日迄ニ履歷書ニ入學料金壹圓ヲ添へ本校ニ差出シ且明治四十一年文部省令第九號ノ入學資格ヲ證明スへキ卒業證書又ハ證明書ヲ提出シ本校ノ檢閱ヲ受クヘシ

前項ノ手續ヲ了セサル者ニ關シテハ其ノ入學ノ許可ヲ無効トス

第十三條 入學シタル者ハ宣誓ヲ爲シ且在學中保證ノ責ニ任スへキ父兄ノ宿所氏名ヲ届出ツヘシ但シ本文ニ該當スル父兄ナキトキハ之ニ代ルへキ者ヲ定メ本文ノ手續ヲ爲スヘシ

第十四條 退學セシ者及除名セラレタル者再入學ヲ願フトハ詮議ノ上之ヲ許可スルコトアルヘシ

#### 第四章 進級及卒業

第十五條 生徒ノ進級及卒業ハ平素ノ學業及試験ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定ム但シ學科目ノ種類ニ依リ試験ヲ行ハサルコトアルヘシ

第十六條 試験ヲ分テ通常試験及學年試験トス  
通常試験ハ課業ノ進度ニ應シ隨時之ヲ施行ス  
學年試験ハ學年末ニ於テ之ヲ施行ス



第十七條 學業及成績考查ノ方法ハ細則ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條 第十五條ニ依リ進級又ハ卒業セサル者ハ次學年ニ於テ再ヒ原學年ノ各學科目ヲ履修セシム

第十九條 學年試験ニ缺席シタル者ハ更ニ其試験ヲ受クルコトヲ得ス但シ病氣又ハ止ムヲ得サル事故ニ依リ試験ヲ受クルコト能ハサル事故明瞭ナル者ニ對シテハ次學年ノ初ニ於テ特ニ試験ヲ行フコトアルヘシ

第五章 授業料

第二十條 授業料ハ一學年金參拾圓トス

第二十一條 授業料ハ左ノ三期ニ分納セシム

第一學期分 金拾貳圓

第二學期分 金九圓

第三學期分 金九圓

納付期日ハ細則ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條 授業料ハ缺席休學停學等ノ爲メ之ヲ免除スルコトナシ但シ第二十六條ニ依リ休學スル者ニ對シテハ次學期以降ノ分納額ヲ免除ス

第二十三條 既納ノ授業料ハ何等ノ事情アリトモ之ヲ還附セス

第二十四條 第二十六條ニ依リ休學セル者休學ノ事故止ミテ學年ノ半途ヨリ出席シタルトキハ當該學期ノ授業料ハ一箇月金參圓ノ割合ヲ以テ其ノ月分ヨリ之ヲ徴收シ指定ノ期日ニ於テ一時ニ納付セシム但シ第三學期分授業料ノ月割ニ關シテハ七月ヲ算入セス

第六章 休學及退學

第二十五條 疾病又ハ止ヲ得サル事故ニ依リ三箇月以上修學スルコト能ハサル見込ノ者ハ願ニ依リ當該學年間休學ヲ許可スルコ



トアルヘシ

第二十六條 陸軍又ハ海軍現役ニ服シ若ハ召集ニ應スル者ハ其ノ服役又ハ召集ノ間休學トス

第二十七條 休學ノ許可ヲ得タル者ハ次學年ノ初ヨリ原學年ノ課程ヲ修メシム

前條ニ依リ休學シタル者ハ服役滿期又ハ召集解除後三週間以内ニ於テ原學年ニ復スヘシ

第二十八條 休學ハ同一學年ニ於テ一回一箇年以内ニ限ル但シ第二十六條ニ依ル休學ハ此限ニアラス

第二十九條 生徒退學セントスルトキハ其ノ事由ヲ申出ツヘシ第三十條 左ノ各號ノ一ニ當ル者ハ之ヲ除名ス

- 一、 正當ノ事由ナクシテ引續キ三箇月以上缺席セル者
- 二、 出席常ナラサル者

三、 學業劣等ニシテ成業ノ見込ナキ者

四、 授業料ノ怠納三十日ニ及フ者

第三十一條 除名ニ關シテハ前條ノ外臨機ノ處分ヲ爲スコトアルヘシ

### 第七章 懲 戒

第三十二條 學紀風紀ヲ紊亂シ其ノ他生徒ノ本分ニ背戾スル者ハ之ヲ懲戒ス

懲戒ハ單ニ形跡ニ拘ハラズ主トシテ德義ニ基キテ之ヲ斷ス

第三十三條 懲戒ハ之ヲ分チテ戒飭謹慎放校ノ三トス

謹慎ニハ停學ヲ附加スルコトアルヘシ

第三十四條 戒飭ハ訓誨ヲ加ヘテ將來ヲ戒メ謹慎ハ一定時間特別ノ監督ノ下ニ反省セシメ放校ハ學校ヨリ放逐ス

### 第八章 服 制



第三十五條 生徒ハ本校規定ノ服裝ヲナスヘシ

第五 生徒心得

本校生徒タルモノハ徳性ヲ涵養シ知能ヲ鍊磨シ以テ國家有用ノ器材タランコトヲ期スヘシ居常守ルヘキ道多端ナリト雖モ茲ニ其ノ標的トスヘキ大綱ヲ舉示スルコト左ノ如シ

- 一、志操ヲ固クシ實行ヲ勵ミ學業徳器ノ大成ヲ期スヘキコト
- 二、身體精神ヲ鍛鍊修養シ剛健快活ノ氣象ヲ振起スヘキコト
- 三、獨ヲ慎ミ己ニ克チ忠信廉恥ノ心ヲ存スヘキコト
- 四、規律ヲ守リ責任ヲ重シ謹恪重厚ノ風ヲ持スヘキコト
- 五、師長ヲ尊敬シテ温恭自虛ノ道ヲ盡クシ朋友ヲ親愛シテ協同融和ノ實ヲ舉クヘキコト



### 第六 細則

#### 一 生徒心得細則

- 第一條 生徒ハ本校職員ニ對シテハ勿論相互ニ敬禮スヘシ
- 第二條 生徒ハ酒類ヲ飲用スヘカラス
- 第三條 校内ニ於テハ所定ノ場所ノ外喫烟スヘカラス
- 第四條 生徒左記ノ一ニ該當セサル者ハ學寮代用學寮又ハ公認下宿ニ入ルヘシ但特別ノ事情アルモノハ願出ニヨリ審査ノ上他ヨリ通學ヲ許可スルコトアルヘシ
  - 一、 自宅ヨリ通學スルモノ
  - 二、 職員宅ヨリ通學スルモノ
  - 三、 親戚宅ヨリ通學スルモノ
- 第五條 生徒遅刻又ハ缺席スルトキハ其ノ當日ヨリ三日以内ニ事

由ヲ詳記シ届出ツヘシ但シ病氣缺席一週日ニ渉ルモノハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第六條 生徒宿所ニ關スル届又ハ父兄ニ關スル届ニ記載ノ事項ニ異動ヲ生シタルトキハ直チニ届出ツヘシ

第七條 生徒ヨリ提出スル總テノ願届書ハ特ニ規定アルモノヲ除クノ外指導教官ノ承認ヲ經テ生徒課ニ差出スヘシ

第八條 授業定刻ニ至ルモ教官ノ出場ナキトキハ級總代ヲ以テ教務課ニ申出其ノ指揮ヲ受クヘシ

第九條 生徒揭示ヲ爲サントスル時ハ生徒課ノ許可ヲ受クヘシ

第十條 生徒集會ヲ催スキハ豫メ生徒課ニ届出ツ可シ

第十一條 告示ハ所定ノ場所ニ揭示シタル以上ハ一般ニ知了セラレタルモノト看做スヲ以テ生徒ハ常ニ揭示場ニ注意スヘシ

#### 二 校章規程



第一條 本校ノ徽章ヲ第一校章及第二校章トス其ノ様式左ノ如シ  
(様式略ス)

第二條 第一校章ハ制帽ノ前章トシ其ノ他校長ノ特ニ指定シタル  
場合ニ於テノミ之ヲ用フルモノトス

第三條 第二校章ハ衣釦紋章其ノ他ノ記號ニ用フルモノトス

三 服裝ニ關スル規程

第一條 本校生徒ノ服制左ノ如シ

一、正帽

製式 丸形

品質 羅紗

色 黒

前章 眞鍮製金色 第一校章縱徑八分横徑九分五厘

横章 白線二條幅各二分

頤紐 黒革幅三分五厘 釦(眞鍮製金色圓形徑三分五厘第  
二校章ヲ附ス)

二、略帽

製式及品質 麥藁製普通形(緣約二寸高約二寸七分)

鉢卷 黒色(幅約一寸)

前章 正帽ニ同シ

三、冬服

製式 脊廣形立襟(裋角形)「ポケット」ハ上衣ノ左右兩脇

及左胸部ニ各一個トス但シ「ヒサシ」ヲ附セス

品質 小倉又ハ「ヘル」

色 濃紺

襟章 第一部ハI、第二部ハII(眞鍮製金色縱徑五分)



四、夏服 釀製黑色徑七分第二校章ヲ附ス(一列五個)

製式釀襟章ハ冬期ノモノニ同シ

品質 小倉綾織

色 藍鼠霜降

五、外套 套

製式 圖ノ如シ (圖略ス)

品質 羅紗

色 黒(裏地ヲ附スル場合ニモ同色)

釀 眞鍮製金色第二校章ヲ附ス(前部二列各列五個徑八分背部二個徑八分二個徑五分)

六、靴

品質 革又ハ「ズック」

色 黒

第二條 夏服用期間ハ六月一日ヨリ九月三十日迄トス

此期間内ハ正帽ニ白色日覆ヲ付スヘシ但シ時宜ニ依リ本文ノ期間ヲ伸縮スルコトアルヘシ

第三條 夏服用期間内ニ於テハ儀式ノ場合、體操教授ヲ受クル場合及特ニ指定シタル場合ノ外ハ略帽ヲ以テ正帽ニ代用スルヲ得

第四條 儀式ノ場合ニハ冬服及正帽ヲ着用スルヲ以テ正装トス

第五條 生徒登校スル場合ニハ必ス第一條乃至第三條ニ規定セル服裝ヲ爲スヘシ但シ止ムヲ得サル事由ニ依リ制服ヲ着用スルコト能ハサル者ハ其事由ヲ詳記シ之ヲ届出ツヘシ

第六條 生徒外出ノ際ハ成ルヘク制服ヲ着用スヘシ若シ和服ヲ着用スルトキハ必ス袴及制帽ヲ着クヘシ



第七條 本規程ハ新ニ入學セル生徒ニ對シテ其年ノ十月一日ヨリ之ヲ適用ス

四 通學規程

第一條 本校生徒ハ異動ノ有無ニ拘ハラズ毎年九月十一日ヨリ同月二十五日迄ニ所定ノ書式ニヨリ宿所ニ關スル届出ヲ爲スヘシ

第二條 生徒宿所ヲ變更シタルキハ三日以内ニ前條ノ手續ヲ爲スヘシ

第三條 生徒旅行又ハ外泊ナナスコト一週間以上ニ亘ル場合ニハ事由及旅行先又ハ外泊先ヲ詳記シ豫メ届出ツヘシ

第四條 生徒ノ宿所ヲ不適當ナリト認ムルキハ轉宿ヲ命スルコトアルヘシ

第五條 生徒ハ其宿所ノ門戶見易キ所ニ所定ノ名標ヲ掲クヘシ

第六條 第一條ノ届書用紙及名標ハ生徒課ニ於テ之ヲ交付ス名標ハ生徒卒業退學又ハ休學ノ場合ニ之ヲ返納スヘシ

五 授業料納付期日

授業料納付期日左ノ通相定ム

第一學期分	其年	自九月十一日 至同月二十日	第二學期分	其年	自一月八日 至同月二十日
第三學期分	其年	自四月八日 至同月二十日			

六 分課事務規程

第一條 本校ニ生徒監部教務課圖書課及庶務課ヲ置キ事務ヲ分掌セシム

第二條 各部課ニ部長又ハ課長ヲ置キ部課所屬職員ヲ率ヒ分掌事務整理ノ責ニ任セシム



部長又ハ課長ハ職員中ニ就キ校長之ヲ命ス

第三條 部課所屬ノ職員ハ部長又ハ課長ノ指揮ヲ受ケ職務ニ従事ス

第四條 生徒監部ニ生徒課及學寮課ヲ置ク

生徒課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 生徒ノ訓育及風紀ニ關スルコト
- 二 生徒ノ勤惰ニ關スルコト
- 三 生徒ノ管理及監督ニ關スルコト
- 四 體育及運動ニ關スルコト
- 五 生徒ノ訓誨及懲戒ニ關スルコト
- 六 生徒ノ父兄ニ關スルコト
- 七 生徒ノ學籍ニ關スルコト
- 八 退學及休學ニ關スルコト

九 生徒ノ兵役ニ關スルコト

一〇 生徒ノ願伺届等ニ關スルコト

二 生徒ノ證明書ニ關スルコト

三 學校衛生ニ關スルコト

三 身體検査ニ關スルコト

一四 生徒控所ニ關スルコト

一五 卒業生ニ關スルコト

學寮課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 學寮ノ管理ニ關スルコト
- 二 學寮ノ警備ニ關スルコト
- 三 學寮ノ衛生ニ關スルコト
- 四 生徒ノ入寮及退寮ニ關スルコト
- 五 學寮ノ炊事監督ニ關スルコト



- 六 其他學寮ニ關スル一切ノコト
- 第五條 教務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一 學科課程ニ關スルコト
  - 二 教授時間及教室ニ關スルコト
  - 三 教科用圖書ニ關スルコト
  - 四 生徒募集及入學ニ關スルコト
  - 五 試驗及學力檢定ニ關スルコト
  - 六 學業成績及進級卒業ニ關スルコト
  - 七 學級編制ニ關スルコト
  - 八 教授上ノ設備ニ關スルコト
  - 九 修學旅行等ニ關スルコト
  - 〇 參觀人取扱ニ關スルコト
  - 二 教官會議ニ關スルコト

三 其他教務ニ關スル一切ノコト

第六條 圖書課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 圖書ノ保存及整理ニ關スルコト
- 二 圖書印ヲ管守スルコト
- 三 書庫及閱覽室ニ關スルコト
- 四 圖書目錄編纂ニ關スルコト
- 五 圖書貸附ニ關スルコト
- 六 新聞雜誌年報一覽等ノ保存及整理ニ關スルコト
- 七 其他圖書ニ關スル一切ノコト

第七條 庶務課ニ庶務係及會計係ヲ置ク

- 庶務係ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一 御眞影及勅語ノ保管ニ關スルコト
  - 二 校長ノ官印及校印ヲ管守スルコト



- 三 職員ノ進退、身分及服務ニ關スルコト
  - 四 雇外國人ニ關スルコト
  - 五 公文書類ノ接受及發送ニ關スルコト
  - 六 公文書類ノ編纂及保存ニ關スルコト
  - 七 機密ノ文書ニ關スルコト
  - 八 統計報告、一覽等ニ關スルコト
  - 九 諸規則ノ制定、改廢ニ關スルコト
  - 一〇 日誌及諸記録ニ關スルコト
  - 一一 諸儀式ニ關スルコト
  - 一二 寄贈ノ金品等ニ關スルコト
  - 一三 宿直ニ關スルコト
  - 一四 各部課ノ主掌ニ屬セサル一切ノコト
- 會計係ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 歳入、歳出、豫算及決算ニ關スルコト
- 二 資金ニ關スルコト
- 三 金錢ノ收支及保管ニ關スルコト
- 四 歳入、歳出及物品證明ニ關スルコト
- 五 物品ノ購入及不用物品處分ニ關スルコト
- 六 物品ノ出納及保管ニ關スルコト
- 七 修繕ニ關スルコト
- 八 校地、校舍ニ關スルコト
- 九 電話、電燈、瓦斯、給水、及煖爐取扱ニ關スルコト
- 一〇 校内一般ノ警備取締ニ關スルコト
- 一一 校舍内外ノ洒掃ニ關スルコト
- 一二 備人ノ進退及取締ニ關スルコト
- 一三 其他會計ニ關スル一切ノコト



第八條 各部課ノ主掌事務ニシテ他部課ニ關聯スルモノハ合議ス  
ヘシ

第九條 各部課所屬職員ハ常務ノ外時宜ニ依リ他ノ部課ノ事務ヲ  
補助スヘシ

### 七 教育事務規程

第一條 各教官ノ擔任スヘキ教育事務概テ左ノ如シ

- 一 生徒ノ操行ヲ調査スルコト
- 二 生徒ノ勤怠ヲ調査スルコト
- 三 生徒ノ學業成績ヲ調査スルコト
- 四 教室内ノ秩序ヲ保持スルコト
- 五 教授要旨及教授細目ヲ調製スルコト
- 六 教育ノ成績及教授ノ經過ヲ報告スルコト

七 修學旅行ニ關スルコト

八 其他生徒ノ教育ニ關係アル一切ノコト

第二條 訓育ニ關スル事務ハ全教官ノ擔任トシ生徒監ヲシテ之ヲ  
主掌セシム

生徒監ハ訓育ニ關スル事項ニ就キ關係教官ノ協議會ヲ開クコト  
ヲ得

第三條 教授ニ關スル事務ハ學科毎ニ當該教官ノ分擔トス

第四條 教育事務整理ノ責ニ任セシムル爲メ學科主任、學級主任及  
指導教官ヲ置ク

第五條 學科主任ハ左ノ學科ニ就キ各一人トシ教官中ニ就キ校長  
之ヲ命ス

第一文學科 倫理論理及心理、歴史、法學通論、經濟通論

第二文學科 國語及漢文



第一語學科 英語

第二語學科 獨語、羅旬語

第一理學科 數學、物理學

第二理學科 化學、動物及植物、地質及礦物

第三理學科 圖書、測量

體操科 體操

第六條 學科主任ノ擔任スヘキ事務概テ左ノ如シ

- 一 當該學科教授ノ統一進步ノ爲メ必要ナル處置ヲ爲スコト
- 二 教授要旨及教授細目ヲ整理スルコト
- 三 教科用圖書ノ豫選ニ關スルコト
- 四 教授分擔ニ關スルコト
- 五 教授上必要ナル參考用圖書、器械、標本、藥品等ヲ調査スルコト
- 六 其他當該學科ニ關スルコト

學科主任ハ擔任事務ニ關シ關係教官ノ協議會ヲ開クコトヲ得

第七條 學級主任ハ各學級一人トシ教官中ニ就キ校長之ヲ命ス

第八條 學級主任ハ所屬生徒ヲ統率シ校規命令ヲ實行セシメ又其學業ヲ督勵シ風紀ヲ維持シ其他當該學級ニ關スル事項ヲ臨機處理スルモノトス

第九條 各學級主任ノ下ニ級總代二人ヲ置ク

級總代ハ當該學級生徒ヲシテ定員二倍ノ候補者ヲ互選セシメ其中ニ就キ校長之ヲ命ス

第十條 級總代ハ學級主任ノ指揮ヲ受ケ當該學級一切ノ世話ヲ爲スモノトス

第十一條 學級主任及級總代ノ任期ハ各一箇年トス

第十二條 指導教官ハ教官中ニ就キ校長之ヲ命シ全生徒ヲシテ之ニ分屬セシム但シ生徒又ハ父兄ニ於テ特別ノ希望ヲ申出ツルコ



トヲ得

第十三條 指導教官ハ其擔任ニ屬スル生徒ノ品行、學業、健康等ニ關シ在學中絶ヘス適宜ノ指導監督ヲ加ヘ生徒ヲシテ其本分ヲ完ウセシメシメコトヲ期スヘシ

第十四條 指導教官ハ特ニ規定アルモノヲ除クノ外其擔任ニ屬スル生徒ヨリ本校ヘ差出スヘキ總テノ願届書ヲ審査スヘシ

### 八 教官服務規程

第一條 本規程ニ於テ教官ト稱スルハ教授、助教授及講師ヲ包含ス

第二條 教官ハ官吏服務規律ニ從ヒ服務スヘシ

第三條 教官ハ其分擔ノ範圍内ニ於テ校長ニ對シ生徒教育ノ責任ス

第四條 生徒ノ教育ニ關スル事務ハ各教官ノ擔任トス

第五條 教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學科主任、學級主任、指導教官ノ事務ニ從事スヘシ

第六條 教官ハ校長ノ命ヲ承ケ分課ノ事務ニ從事スヘシ

第七條 教官ハ校長ノ命ヲ承ケ入學者選抜試験、大學豫科學力檢定試験、其他臨時ノ事務ニ從事スヘシ

第八條 教官ハ教授、訓育、其他學校ノ利害ニ關係アル事項ニ就キ意見アルトキハ之ヲ校長ニ具申スヘシ

第九條 教官ハ校長ノ許可ヲ受クルニアラサレハ報酬ノ有無ヲ問ハス他ノ職務ニ從事スルコトヲ得ス

第十條 臨時教授時間ヲ變更スル必要アルトキハ校長ノ許可ヲ受クヘシ

第十一條 事務員服務規程ハ第一條乃至第三條ヲ除キ之ヲ教官ニ準用ス



九 事務員服務規程

- 第一條 本規程ニ於テ事務員ト稱スルハ分課事務ニ従事スル教官及講師並書記及事務雇員トス
- 第二條 事務員ハ執務時限マテニ登校シ出勤簿ニ捺印スヘシ
- 第三條 事務繁劇ナルトキ至急處理ヲ要スルモノアルトキ又ハ所屬上官ヨリ特ニ命セラレタルトキハ執務時間外又ハ休日ト雖モ執務スヘシ
- 第四條 疾病其ノ他ノ事故ニヨリ出勤スルコト能ハサルトキハ當日執務時限前ニ事由ヲ記シ届出ツヘシ若シ病氣缺勤一週日ニ涉ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付シ爾後一週日ヲ加フル毎ニ同様ノ手續ヲナスヘシ
- 第五條 執務時限中發病等ノ爲メ退出セントスルトキハ上官ノ承認ヲ受クヘシ

第六條 父母ノ祭日ニ休暇ヲ要スルモノハ前日中ニ届出ツヘシ

第七條 親屬ノ喪ニ遇ヒ忌服ヲ受クルトキハ死者ノ氏名親屬關係及忌服日數ヲ記シ届出ツヘシ

第八條 轉地療養父母ノ病氣看護又ハ父母ノ墓參ノ爲メ請暇セントスル者ハ日限及行先地ヲ記シ許可ヲ受クヘシ

第九條 賜暇中旅行セントモルモノハ日限及旅行先地ヲ記シ出發前届出ツヘシ

第十條 出張ノ命ヲ受ケタルモノハ出發及歸校ノ際其旨ヲ届出テ且歸校後五日以内ニ復命書ヲ差出スヘシ但簡單ナル事項ハ口頭ヲ以テ復命スルコトヲ得

第十一條 新任者ハ五日以内ニ住所届印鑑届ヲ差出スヘシ爾後住所ヲ移轉シ又ハ氏名印章ヲ變更セシトキハ其都度届出ツヘシ

第十二條 官廳其ノ他ヨリ本校ヲ經由セスシテ辭令書ヲ受ケ其事



項ノ履歷上ニ關係アルモノハ其都度届出ツヘシ  
第十三條 轉任、免官、休職等ノ際又ハ分課事務ヲ免セラレタルトキハ取扱事務ニ關スル書類及物品ノ引繼ヲナスヘシ  
第十四條 出火其他事故變アルトキハ速ニ登校シ上官ノ指揮ヲ受クヘシ若シ事急ヲ要スルトキハ當直者及登校者ニ於テ臨機ノ處置ヲナスヘシ

十 圖書規程

第一條 本校所藏ノ圖書ハ總テ之ヲ圖書課ニ於テ管理ス  
第二條 書庫ニ於テハ本校所藏ノモノ、外他ノ委託ニ係ル圖書ヲ保管スルヲアルヘシ  
第三條 圖書課所屬事務員ノ外所藏圖書ノ取扱ヲナスコトヲ得ス  
第四條 本校教官ハ公務上必要ノ場合ニ於テ書庫ニ入り圖書ヲ檢

索スルコトヲ得

第五條 教務及ヒ事務上特ニ必要ノ圖書ハ校長ノ許可ヲ得テ特別ノ場所ニ備ヘ置クコトヲ得此ノ場合ニ於テ當該主任教官若ハ課長其ノ監守ノ責ニ任ス  
第六條 教官ハ一員二十冊其ノ他ノ職員ハ一員十冊ヲ限リ本校所藏ノ圖書ヲ借受クルコトヲ得但シ和漢裝ノモノハ本文冊數ヲ倍スルコトヲ得  
第七條 貴重圖書、閱覽室備付ニ缺クヘカラサル圖書及ヒ一員ニシテ同一ノ圖書一部以上ハ之ヲ借受クルコトヲ得ス  
第八條 圖書ヲ借受ケント欲スル者ハ圖書課ニ就キ所定ノ手續ヲナスヘシ借受ケタル圖書ハ之ヲ轉貸スヘカラス  
第九條 擔任以外ノ學科ニ屬スル圖書又ハ執務ニ直接關係ナキ圖書ヲ借受ケントスルトキハ豫メ當該主任教官ノ承諾ヲ受クヘシ



第十條 借受ケタル圖書ハ毎年七月十日迄ニ悉皆返納スヘシ但シ時宜ニ依リ臨時返納セシムルコトアルヘシ

第十一條 借受ケタル圖書ヲ紛失又ハ汚損シタルトキハ其ノ損害ノ程度ニ依リ同一ノ圖書ヲ以テ之ヲ償ハシムルカ若ハ其ノ修繕ヲ命スルコトアルヘシ

第十二條 閲覧室ニ入リテ圖書ヲ閲覧シ得ル者ハ本校職員生徒第二條ノ圖書委託者其ノ他校長ノ特許ヲ得タル者ニ限ル

第十三條 生徒圖書閲覧ノ證トシテ閲覧券ヲ設ケ毎學年ノ始メ圖書課ニ於テ之ヲ交付ス

第十四條 本校ノ職員及ヒ生徒ニアラスシテ圖書ヲ閲覧スル者ニ對シテハ圖書閲覧特許證ヲ附與ス

第十五條 閲覧券及ヒ閲覧特許證ハ之ヲ他ニ轉貸スヘカラス若シ之ヲ紛失又ハ汚損シタルトキハ速ニ其旨ヲ圖書課ニ届出ツヘシ

第十六條 本規程ニ違反シ又ハ其他不都合ノ行爲アルモノハ或ル期限間圖書ノ閲覧ヲ停止スルコトアルヘシ

第十七條 圖書ノ借受及閲覧ニ關スル手續ハ別ニ之ヲ定ム

### 十一 圖書閲覧室細則

第一條 圖書閲覧室開閉ノ時限ハ其ノ時々之ヲ揭示ス

第二條 定期閉室ノ時日左ノ如シ

一 八月一日ヨリ八月三十一日迄

一 十二月二十八日ヨリ一月五日迄

一 祝祭日

前項ノ外臨時閉室スルコトアルヘシ

第三條 圖書ヲ閲覧セントスル者ハ所定ノ用紙ニ一切ノ手續ヲ了シ閲覧券ト共ニ之ヲ係員ニ差出ス可シ但シ閲覧室備付ノ圖書ト



雖モ時宜ニ依リ閱覽ヲ拒絕スルコトアルヘシ

第四條 閱覽者ハ閱覽終レハ直チニ圖書ヲ返納スヘシ

閱覽者ハ圖書ヲ閱覽室外ニ携帯スルコトヲ得ス

第五條 閱覽券下附出願者ハ每學年圖書課ニ就テ其ノ手續ヲナスヘシ

第六條 閱覽者ハ一時ニ洋書五冊和書十冊以上ヲ借覽スルコトヲ得ス

第七條 圖書ハ鄭重ニ之ヲ取扱フヘシ若シ紛失又ハ汚損シタルトキハ其ノ損害ノ程度ニ依リ同一ノ圖書ヲ以テ之ヲ償ハシムルカ若ハ其ノ修繕ヲ命スルコトアルヘシ

第八條 閱覽室ニ入ル者ハ左ノ各項ヲ確守スヘシ

- 一 喫烟、談話、音讀等凡テ他人ノ障礙トナルヘキ行爲ヲ禁ス
- 二 圖書、筆、紙、墨類ノ外妄ニ物品ヲ携帯スヘカラス

三 制服若ハ袴ヲ着用スヘシ

四 室内備付ノ卓子、椅子等ノ位置ヲ漫ニ變更スヘカラス



第七 教科用書目

國語

第一部第一年 改正高等國文 增鏡

第二部第一年 關根正直著 近體文篇

漢文

第一部第一年 高等漢文讀本 卷四

第二部第一年 資治通鑑鈔 戰國策楚辭鈔

英語

第一部第一年 *Blackie's Self-culture.*

*Specimens of the Short Story.*

*Selections from the Intellectual Life.*

*Irving: The Alhambra.*

第二部第一年 *Students' English Series No. 2.*

*Specimens of English modern Prose.*

*Hawthorne: Little Masterpieces.*

獨語

第一部第一年 第一高等學校獨乙語教員編 獨乙語學楷梯

第六高等學校獨乙語教員編 獨乙讀本卷一

*Comfort: German Course.*

大村山口谷口著 獨乙文法教科書上(參考書)

第二部第一部 獨逸協會出版 獨乙語入門

第一高等學校獨乙語教員編 獨乙語讀本卷一



*Comfort: German Course.*  
 第六高等學校獨乙語教員編 獨乙語讀本卷一  
*Otto: German Conversation Grammar.*

歷史

第一部第一年 *Myers: General History.*  
*Putzger: Historischer Schulatlas.*

數學

第二部第一年 藤澤利喜太郎著 續初等代數學教科書  
*Podhunter: Trigonometry.*  
*Smith: Algebra.*  
*Puckle: Conic Sections.*

第八 職員

(明治四十一年十月三十一日調)

校長 文學士 大島 義 脩 東京

主任、歷史 第一文學科 教授文學士 橋本 捨次郎 滋賀

主任、國語 第二文學科 教授文學士 藤井 乙 男 兵庫  
 漢文 講師 松本 亦一 佐賀

第一語學科

主任、英語 教授文學士 小松 原隆二 岡山  
 英語 講師文學士 岡部 次郎 大分  
 同 講師文學士 中川 芳太郎 愛知  
 同 講師 原田 治郎 山口



第二語學科

獨逸語

教授文學士

丸山

環滋賀

主任、獨逸語

教授

中村健一郎

三重

獨逸語

教授文學士

原弘

毅廣島

同

講師文學士

芝田徹心

三重

同

講師文學士

岫道

元岐阜

第一理學科

主任、數學

教授理學士

中野

靜長野

第三理學科

主任、圖書

教授工學士

山縣愷

介山口

體操科

體操

講師陸軍步兵少佐

久米德太郎

茨城

主任、體操

講師陸軍步兵少尉

山本誠三

山口

同

講師陸軍步兵特務曹長

稻垣善太郎

愛知

生徒監部

部長、生徒監

教授

橋本捨次郎

前出

勤務

講師

松本亦一

前出

同

講師

山本誠三

前出

同

講師

稻垣善太郎

前出

兼勤

書記

土井禮

愛知

勤務

雇

淺野靜夫

愛知

教務課

課長

教授

丸山

環前出

勤務

書記

市川光一

岐阜

圖書教室勤務

雇

松保忠次郎

埼玉

庶務課



課長	庶務係勤務	會計主任	會計係勤務	會計係勤務	庶務係兼勤	圖書課	課長	兼勤	兼勤	勤務
教授	書記	書記	書記	書記	書記	講師	書記	書記	書記	書記
中村健一郎前出	土井禮前出	山本清一郎前出	淺田央吉三重	加藤貞助前出	淺野靜夫前出	芝田徹心前出	淺田央吉前出	加藤貞助前出	岡田精一郎前出	岡田精一郎前出

第九生徒

一生徒氏名

第一部第一學年甲乙組

甲類

東京府立第三	大阪府立天王寺	東京私立大成	北海道札幌	東京私立大成	東京府立第三	新潟縣立新潟	兵庫縣立	水野	萬次兵庫	愛知縣立第三	伊藤武彦前出
田中直通	杉田正三郎前出	中村謙示前出	磯谷恒雄前出	澤野信藏前出	太田貞雄前出	大野坦三前出	大野	萬次兵庫	今川正宮前出	大庭重前出	大庭重前出
田中直通	杉田正三郎前出	中村謙示前出	磯谷恒雄前出	澤野信藏前出	太田貞雄前出	大野坦三前出	大野	萬次兵庫	今川正宮前出	大庭重前出	大庭重前出
愛知縣立第三	宮城縣立	私立第二	岐阜縣立	和歌山縣立	兵庫縣立	神奈川縣立	東京府立第一	松本	松本	松本	松本
伊藤武彦前出	今川正宮前出	大庭重前出	國島三郎前出	木下誠一前出	杉山茂前出	三田次前出	三田次前出	松本	松本	松本	松本

生徒氏名 同組ノ生徒席次ハ選拔試験成績順 同部類組ノ別ハ成績ニ關係ナシ 七三







生徒氏名 同組ノ生徒席次ハ選拔試験成績順 同部類組ノ別ハ成績ニ關係ナシ 七六

長野縣立	諏訪	堀	義	雄	長野	神奈川縣立第一	丹	羽	猛	神奈川
大阪府立	松本	武	夫	兵	庫	岐阜縣立	谷	忠	治	愛知
香川縣立	鎌田	政	忠	香	川	私立	尾崎	知	暢	愛知
岐阜縣立	平田	範	政	岐	阜	山形縣立	小林	一	郎	山形
東京府立	日向	光	太郎	山	梨	私立	岡野	博	一	千葉
早稲田立	加賀	田	鶴	吉	愛知	愛知縣立	加藤	源	之	助
三重縣立	上田	義	郎	三	重	滋賀縣立	北村	源	吾	滋賀
兵庫縣立	森	憲	兵	庫		茨城縣立	龍ヶ崎	松	浦	是
奈良縣立	鐵田	一郎	和	歌	山	栃木縣立	小野	浩	太	郎
五條						大田原				

第二部第一學年甲一組

岐阜縣立	可	知	量	岐	阜	私立	岩	瀨	德	三	郎	千葉
愛知縣立	堀	重	固	愛	知	私立	坪	井	三	郎	山口	
和歌山縣立	田	端	耕	造	和歌山	私立	楠	正	伯	東	京	
靜岡縣立	中	井	俊	平	靜岡	兵庫縣立	淺	野	外	茂	吉	石川
兵庫縣立	阿	曾	義	則	兵庫	滋賀縣立	內	藤	圓	曹	滋	賀
麻布立	鹿	又	真	宮	城	私立	川	目	亮	東	京	
私本立	館	野	親	雄	茨城	東京府立	金	子	寅	男	東	京
福嶋縣立	松	田	忠	吉	福島	大阪府立	久	世	欽	十	郎	大阪
三重縣立	土	井	五	吉	三	學習院	小	畑	英	五	郎	京都
靜岡縣立	大	川	二	靜	岡	廣島縣立	中	森	延	一	廣	島
大分縣立	池	邊	爲	喜	大分	香川縣立	岡	內	翠	香	川	
山梨縣立	內	藤	省	三	山梨	私立	中	野	源	一	郎	東京
甲府立	張	立	彦	佐	賀	開成	中	野	源	一	郎	東京
佐賀縣立						廣島縣立	田	上	禎	吉	廣	島

生徒氏名 同組ノ生徒席次ハ選拔試験成績順 同部類組ノ別ハ成績ニ關係ナシ 七七



生徒氏名 同組ノ生徒席次ハ選抜試験成績順 同部類組ノ別ハ成績ニ關係ナシ 七八

大阪府立	吉年寅秋大阪	福岡縣立	萩原基治福岡
富田林立	岡田實岐阜	中學傳習	鈴木雅次長野
岐阜縣立	岡田清人山口	長野縣立	堀切文作福島
山口縣立	永江梓愛媛	福島縣立	四屋惠太郎宮崎
豐浦立	友繁直次郎京都	宮崎縣立	津田千秋和歌山
日比谷立	馬屋原坦二廣島	延岡立	
京都府立		和歌山縣立	
廣島縣立		立和歌山	
三廣島次立			

第二部第一學年甲二組

順天立	有田寅吉和歌山	愛知縣立	足立元二郎愛知
奈良縣立	多田美一和歌山	第一	西村啓三兵庫
埼玉縣立	高澤庫吉埼玉	兵庫縣立	長竹信次群馬
川越立	石谷讓二東京	群馬縣立	高柳與四郎群馬
開私	關澤三吉新潟	群馬縣立	黑川賢次郎島根
新潟縣立		太馬縣立	
高田立		島根縣立	

愛知縣立	鈴木憲一愛知	兵庫縣立	寺田彌平兵庫
小佐賀縣立	中尾幸雄佐賀	龍野	內藤邦策山梨
神奈川縣立	瀬戸辰五郎神奈川	滋賀縣立	小笹進滋賀
立第二	中島英世愛知	兵庫縣立	小島正輝兵庫
私	服部源助愛知	小島	清水本之助長野
愛知縣立	岡田丈五郎滋賀	私	中村爲嗣石川
第知縣立	清水半一京都	廣島縣立	柴田誠一鳥取
高知縣立	岩山虎雄岩手	早稻	柴田誠一鳥取
波早縣立	高木敏雄愛知	大阪府立	森芳太郎大阪
第知縣立	森守衛高知	市大阪府立	橋本統一大阪
愛知縣立	大森鈞朗愛知	市大阪府立	橋本孝忠香川
私	村井貞雄東京	丸香川縣立	伊藤藤孝香川
早稻	中澤修一新潟	長野縣立	藤本康竹長野
新瀨縣立		京私	田結一郎岡山
		京私	橋本金一東京

生徒氏名 同組ノ生徒席次ハ選抜試験成績順 同部類組ノ別ハ成績ニ關係ナシ 七九



生徒氏名 同組ノ生徒席次ハ選抜試験成績順 同部類組ノ別ハ成績ニ關係ナシ 八〇

大阪府立	池上信次郎	大阪	和歌山縣立	中谷	潔	和歌山
市岡			立徳義			
濱岡縣立	齋藤倍次	靜岡	私立	河崎治	身鳥取	
松			布立			
東京府立	田中隆一郎	秋田	麻立	石光真	俊熊本	
第四			布立			

第二部第一學年甲三組

愛知縣立	石原信之	岐阜	三重縣立	中上	豐吉	三重
第一			第二			
大阪府立	平瀬三雄	大阪	佐賀縣立	大隈	一作	佐賀
北野			賀立			
和歌山縣立	久保田耕太郎	和歌山	大阪府立	淺村啓	三大	大阪
田邊			尾立			
愛知縣立	大岩肇	愛知	東京府立	萩原俊	一	東京
第一			第一			
私北立	畑耕一	廣島	東京府立	宮城島重	磨	東京
京北			第一			
東京府立	太田辛一	東京	東京府立	久保村鈎	介	三重
第四			第一			
福井縣立	長谷川建治	福井	私開成	高山義太郎	神奈川	
井立			第二			
私立	須崎虎之助	埼玉	廣島縣立	南	紮	夫靜岡
則立			島立			

兵庫縣立	石川清	兵庫	岐阜縣立	戸田通	直	岐阜
神戶			垣立			
大阪府立	六島本藏	大阪	岡山縣立	高草立	夫	岡山
天王寺			掛立			
廣島縣立	福永勉	廣島	和歌山縣立	松尾寬	一	和歌山
島立			徳義			
福井縣立	村野貞朗	福井	立徳義	窪田格太郎	郎	東京
井立			立			
和歌山縣立	木下啓一郎	和歌山	麻布立	山本	敏	三重
粉河			立			
私立	吉岡	長野	東京府立	芝立	岩井秀	男東京
工立			第四			
佐賀縣立	鍋島朝俊	佐賀	山口縣立	鮎川政	輔	山口
島立			浦立			
靜岡縣立	柳原隸次	靜岡	愛知縣立	菱田鑒	二	愛知
山立			第一			
茨城縣立	仙波修三	茨城	大阪府立	勝木治郎	郎	大阪
妻立			天王寺			
愛知縣立	川本良吉	愛知	長野縣立	小柳信三	郎	長野
第一			野立			
岩手縣立	高橋昌利	岩手	岡山縣立	池田英	雄	岡山
岡立			山立			
私立	水谷佐七	愛知	京都府立	真崎尙	忠	京都
倫立			第二			
富山縣立	石場讓	富山	私立	黑澤戒	三	兵庫
山立			早稻田			

生徒氏名 同組ノ生徒席次ハ選抜試験成績順 同部類組ノ別ハ成績ニ關係ナシ 八一



第三部第一學年乙組

麻布	東立	北野	大阪府	石川縣	三重縣	東京府	私立京都	德島縣	滋賀縣	兵庫縣	神奈川縣	群馬縣	鳥取縣
都野	倉本	福井	中谷	木谷	岡出	尾崎	河邊	鈴江	北條	清水	山口賢	町田	第
正三	文八	國男	郁三	重榮	幸生	銘岡	誠一	豐一	智勇	政治	一郎	崇山	取
山口	兵庫	大阪	大阪	石川	三重	山	富山	德島	滋賀	兵庫	愛知	群馬	佐々木
明倫	岐阜	東京	香川	大阪	高松	香川	堺	山形	濱島	市岡	大坂	大坂	檜谷
篠田	青木	今井	水原	高橋	細溪	山邦	山林	岡田	福井	絞島	實三	實三	仙治
淳三	廉二	榮三	馬驅	寅三	忠次	太郎	太郎	武夫	君平	實三	實三	實三	治郎
愛知	岐阜	和歌山	廣島	大阪	香川	大阪	大阪	鳥取	山口	大阪	大阪	大阪	岐阜
													喬鳥
													取

靜岡縣	宇分縣	開私	愛知縣	私立	大阪府	北野	私立	私立	早稻	私立	商工
真久	甲斐	上野	淺井	八卷	中谷	中村	小由	廣瀨	橋三	東京	島根
雄靜岡	原貫	潔士	東一	之助	郁三	左衛門	孝神	三東京	三東京	東京	能美
	一大分	神奈川	愛知	梨	大阪	太郎	奈川				季一
											島根
											大久保
											幹雄
											愛知
											岡田
											茂次郎
											京都
											重見
											道雄
											山口
											賢之
											福岡
											清吉
											東京
											茨城
											茨城
											彌助
											茨城

生徒氏名 同組ノ生徒席次ハ選抜試験成績順 同部類組ノ別ハ成績ニ關係ナシ 八三

24  
17







德島	山口	廣島	岡山	島根	鳥取	和歌山	富山	石川	福井	岐阜	滋賀
		一			一	一	一			二	
							一		二		
		一		一	一	一				三	一
		二		一	二	二	二		二	五	一
	三	五	三	一	二	八	一	二	二	四	三
一	三	一	一	一	二	一	一	一		二	一
一	六	六	四	二	四	九	二	三	二	六	四
一	六	八	四	三	六	一	四	三	四	一	五

香川	愛媛	高知	福岡	大分	佐賀	熊本	宮崎	總計
	一			一				二五
								一四
一	一		一					四二
一	二		一	一				八一
二	一	一	一	二	四	一	一	二二五
一								四一
三	一	一	一	三	四	一	一	一六六
四	三	一	一	二	四	一	一	二四七



283

生徒年輪別

第八高等學校生徒年齡別

明治四十一年九月末年齡  
ニ於ケル十月三十一日現在

八八

部二第	部一第		類		最	年	高	最	低	平	均
	年一第	年一第	年一第	年一第							
乙	甲	丙	乙	甲							
二四、一〇	二三、六	二二、五	二一、六	二一、〇	年		月	年	月	年	月
一七、八	一七、二	一七、四	一七、一	一七、四							
二〇、四	一九、七	一九、一	一九、八	一九、三							



### 第八高等學校生徒年齡別

明治四十一年九月末年齡  
ニ於テ十月三十一日現在

類別	年		齡		
	最	高	最	低	
第一 部	年	甲	二一、一〇月	一七、四年	一九、三月
		乙	二一、六月	一七、一年	一九、八月
第二 部	年	丙	二二、五月	一七、四年	一九、一月
		甲	二三、六月	一七、二年	一九、七月
第二 部	年	乙	二四、一〇月	一七、八年	二〇、四月

明治四十一年十一月二十三日印刷

明治四十一年十一月二十七日發行

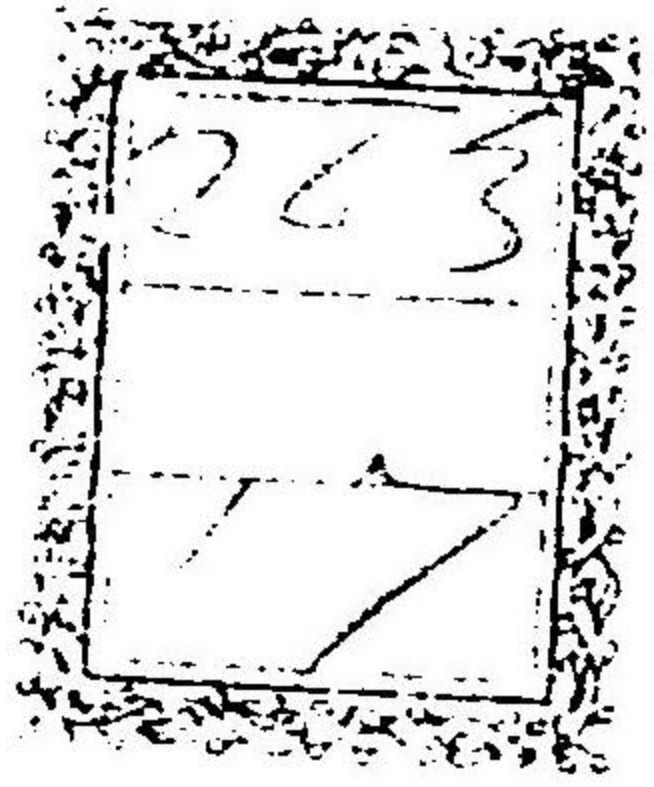
## 發行所 第八高等學校

名古屋市西區本町二丁目拾七番戶

印刷者 橫江慶次郎

名古屋市西區園井町五丁目壹番地

印刷所 秀文社





283  
17

第八高等學校一覽

第二年度

自明治四十二年  
至明治四十三年



283-14

第八高等學校一覽

第二年度

自明治四十二年  
至明治四十三年

第一	學年曆	目次
第二	沿革略	
第三	關係法令	
第四	學則	
第五	學科	

第二章	學年學期及休業	三〇
第三章	入學及在學	三一
第四章	成績考查	三四
第五章	特待生	三六
第六章	授業料	三六

目次

明治  
43. 1. 29  
丙午

三六 三六 三四 三一 三〇 三〇 三〇 八五 一頁



第七章	休學及退學	三八
第八章	懲戒	三九
第九章	校章及服制	四〇
第十章	學寮	四三
第十一章	圖書及器械	四五
第五 生徒心得		四七
第六 細則		四八
一 學則施行細則		四八
第一章	學科及授業	四八
第二章	編制	四九
第三章	成績考查、試驗、檢閱	五〇
第四章	授業料	五七
第五章	在學及休學	五七

第六章	服裝	五九
第七章	學寮	六〇
第八章	圖書	六三
二 生徒心得細則		六五
三 服務及處務細則		六六
第一章	教官ノ服務	六六
第二章	事務員ノ服務	六七
第三章	學校醫ノ服務	七〇
第四章	教育事務	七一
第五章	分課事務	七五
第六章	文書處理	八二
第七章	報告	八五
第八章	表簿	八七
第九章	當直	九一



四	物品會計規程細則	九三
五	校旗取扱方	一〇五
第七	教科用書目	一〇六
第八	職員	一〇七
第九	生徒	一一三
一	生徒氏名	一一三
二	生徒道府縣別	一二三
三	生徒年齡表	一二七
第十	敷地建物	一二八
附 錄		
一	第一年度概況	一二九
二	第八高等學校校友會	一四三
三	寮紀及學寮生徒規約	一四七
四	運動獎勵ニ關スル方針	一五〇

第一 學年曆

明治四十二年

九月十一日	(土曜)	新入生徒宣誓式第一學期始
同 十三日	(月曜)	入學式
同 二十四日	(金曜)	秋季皇靈祭
十月十七日	(日曜)	神嘗祭
十一月三日	(水曜)	天長節拜賀式
同 二十三日	(火曜)	新嘗祭
十二月十七日	(金曜)	第一學期授業終
同 十八日	(土曜)	自習
同 二十日	(月曜)	定期試驗始
同 二十四日	(金曜)	第一學期終



同 二十五日 (土曜) 冬季休業始

明治四十三年

一月七日 (金曜) 冬季休業終

同 八日 (土曜) 第二學期始

同 三十日 (日曜) 孝明天皇祭

二月十一日 (金曜) 紀元節拜賀式

三月二十一日 (月曜) 春季皇靈祭

同 二十四日 (木曜) 第二學期授業終

同 二十五日 (金曜) 自習

同 二十六日 (土曜) 定期試驗始

同 三十一日 (木曜) 第二學期終

四月一日 (金曜) 春季休業始

同 七日 (木曜) 春季休業終

同 八日 (金曜) 第三學期始

七月二日 (土曜) 第三學期授業終

同 四日 (月曜) 自習

同 五日 (火曜) 定期試驗始

同 十日 (日曜) 第三學期終

同 十一日 (月曜) 夏季休業始

九月十日 (土曜) 夏季休業終



本學年授業豫定日數

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
第一學期	一二	一二	一三	一四	一三	一四
第二學期	一〇	一一	一一	一一	九	一一
第三學期	一二	一二	一二	一二	一三	一三
計	三四	三五	三六	三七	三五	三八
						七四
						六三
						七八

第二 沿革略

明治四十年政府ニ於テ高等學校増設ノ計劃アルヤ愛知縣ハ校地及校舎ノ寄附ヲ願ヒ出テ政府之ヲ納レ本校ヲ設置セリ其沿革事項ノ大略左ノ如シ

明治四十一年

三月勅令第六十八號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制ヲ改正シ本校ヲ設置セラレ勅令第六十九號ヲ以テ本校職員ノ定員ヲ定メラル

四月文部省令第十四號ヲ以テ本校大學豫科設置授業開始ノ件ヲ定メラレ同時ニ本校ノ位置ヲ愛知縣名古屋市ニ定メラル

同月文部省内ニ於テ事務ヲ開始シ文部省視學官大島義脩校長事務取扱ヲ命ゼラル

同月文部大臣ノ許可ヲ受ケ學則ヲ定ム



六月文部省視學官大島義脩第八高等學校長兼文部省視學官ニ任ゼラル  
同月生徒二百五十一人ノ入學ヲ許可ス  
七月校長大島義脩兼官ヲ免ゼラル  
同月事務所ヲ愛知縣會議事堂内ニ移ス  
九月元愛知縣立第一中學校校地校舍ヲ使用シテ開校ス  
同月文部大臣ノ許可ヲ受ケ學則中ニ服制ノ件ヲ追加ス  
同月生徒心得及諸細則ヲ定ム  
同月名古屋市東區小川町妙本寺外六ヶ寺ニ於テ本校代用學寮ヲ開始ス  
十一月成績考查及試験假規程施行許可  
同月小松原文部大臣本校ヲ巡視セラル  
明治四十二年  
四月勅令第八十號ヲ以テ本校職員ノ定員ヲ改正セラル  
五月文部大臣ノ許可ヲ受ケ學則全部ヲ改正ス

七月文部大臣ノ許可ヲ受ケ學則中志望部類變更ノ件ヲ改正ス  
同月生徒二百三十五人ノ入學ヲ許可ス  
九月學寮細則ヲ制定シ生徒心得細則ヲ改正ス  
同月生徒八十三名ヲ學寮ニ收容ス  
同月授業ノ一部ヲ新築校舍ニ移ス



### 第三 關係法令

一 學校及圖書館特別會計法(抄) 明治四十年 法律第二十三號

第一條 文部省直轄諸學校及帝國圖書館ハ之ヲ通シテ一ノ特別會計ヲ立テシメ資金ヲ所有シ政府ノ支出金資金ヨリ生スル收入、授業料、寄附金其他ノ收入ヲ以テ其歳出ニ充テシム

二 高等學校令(抄) 明治二十七年 勅令第七十五號

第二條 高等學校ハ専門學科ヲ教授スル所トス但帝國大學ニ入學スル者ノ爲メ豫科ヲ設クルコトヲ得

第四條 高等學校ニ於テ設クル所ノ學科及講座ノ數ハ文部大臣之ヲ定ム

三 文部省直轄諸學校官制(抄) 明治二十六年 勅令第八十六號

第一條 文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ

第八高等學校 (明治四十一年 勅令第六十八號ヲ以テ改正)

第六條 文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長  
教授



生徒監 (明治四十年勅令第二百四十六號ヲ以テ追加)

助教

書記

第七條 校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ受ケ校務ヲ掌理シ所

屬職員ヲ監督ス (明治三十二年勅令第百十七號ヲ以テ改正)

第八條 教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

(明治三十二年勅令第百十七號同勅令第二百四十六號ヲ以テ改正)

第九條 生徒監ハ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

生徒監ハ校長ノ指揮ヲ承ケ專ラ生徒ノ訓育ヲ掌ル (明治四十年勅令第二百四十六號ヲ以テ改正)

第十條 書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ従事ス (明治三十六年勅令第二百三十號

同四十年勅令第二百四十六號ヲ以テ改正)

第十七條 專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル

場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

四 文部省直轄諸學校職員定員令 (抄) (明治三十五年勅令第九十九號)

文部省直轄諸學校專任職員ノ定員左ノ如シ

第八高等學校	校長	教授	助教	助教	助教	訓導	保姆	助手	書記
一人	一人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	五人

(明治四十二年勅令第百八十八號ヲ以テ改正)

五 帝國大學及文部省直轄諸學校雇外國人ニ關スル規定 (明治二十六年勅令第九十六號)



帝國大學及文部省直轄諸學校ニ於テ學科教授ノ必要アルトキハ帝國大學總長及直轄諸學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ雇外國人ヲシテ教官ノ職務ニ當ラシムルコトヲ得

六 高等學校大學豫科學科規程(抄)

明治三十三年  
文部省令第十三號

明治二十七年文部省令第十八號高等學校ニ設置スル大學豫科ノ學科規程ヲ左ノ通改正ス

高等學校大學豫科學科規程

第一條 高等學校大學豫科ノ學科ヲ分チテ第一部、第二部及第三部トス

第一部ノ學科ハ法科大學及文科大學志望者ニ第二部ノ學科ハ醫科大學ノ藥學科、工科大學、理科大學、理工科大學及農科大學志望者ニ第三部ノ學科ハ醫科大學志望者ニ課スルモノトス  
(明治三十五年文部省令第十號ヲ以テ改正)

第二條 第一部ノ學科ハ倫理、國語及漢文、外國語、歷史、論理及心理、法學通

論、體操トス

前項ノ學科ノ外文科大學志望者ニハ經濟通論ヲ課ス

前二項ノ學科中文科大學哲學科志望者ニハ論理及心理ヲ缺キ數學、物理ヲ課ス

外國語ハ英語、獨語及佛語ノ中ニ就キ二種ヲ選ハシム

第一項ノ學科ノ外法科大學志望者ニハ隨意科トシテ羅句語ヲ課スルコトヲ得

第三條 第二部ノ學科ハ倫理、國語、外國語、數學、物理、化學、地質及鑛物、圖書、體操トス

前項ノ學科ノ外醫科大學ノ藥學科、理科大學ノ動物學科、植物學科、地質學科、鑛物學科並ニ農科大學志望者ニハ動物及植物ヲ課シ工科大學及理工科大學ノ土木工學科、機械工學科、電氣工學科、採鑛及冶金學科、工科大學ノ造船學科、建築學科、理科大學及理工科大學ノ數學科、物理學科、理



科大學ノ星學科並ニ農科大學ノ農學科、農藝化學科、林學科志望者ニハ  
 測量ヲ課ス(明治三十五年文部省令第十號ヲ以テ改正) (明治四十二年文部省令第十五號ヲ以テ改正)

外國語ハ英語ノ外獨語又ハ佛語ヲ選ハシム但シ工科大学及理工大  
 學ノ電氣工學科、應用化學科、製造化學科、探鑛及冶金學科並ニ農科大學  
 志望者ハ必ス獨語ヲ選フヘキモノトス

第一項ノ學科ノ外醫科大學ノ藥學科、理科大学ノ動物學科、植物學科、地  
 質學科、鑛物學科並ニ農科大學ノ獸醫學科志望者ニハ隨意科トシテ羅  
 旬語ヲ課スルコトヲ得(同上) (同上)

第四條 第三部ノ學科ハ倫理、國語、外國語、羅旬語、數學、物理、化學、動物及植  
 物、體操トス

外國語ハ獨語ノ外英語又ハ佛語ヲ選ハシム

第五條 各部各學科ノ每週授業時數ハ左ノ如シ

第一部

學科	年		
	第一	第二	第三
倫理			一
國語及漢文	六	五	四
英語	(九)	(九)	(八)
獨語	(九)	(九)	(八)
佛語	(九)	(九)	(八)
歷史	三	三	三
論理及心理		二	
法學通論			二
經濟通論			(二)
體操	三	三	三
計	三〇	三一	三二 一九



備考

表中( )ハ選擇科目ノ時數ヲ表シ( )ハ文科大學志望者ニノミ課スル時數ヲ表ス

文科大學哲學科志望者ニハ第三年ニ於テ國語ヲ缺ク且ツ之ニ課スヘキ數學物理ノ授業時數左ノ如シ

學科	學年	第一年	第二年	第三年
數學			二	
物理				二

英語ヲ以テ入學シ法科大學ノ獨逸法又ハ佛蘭西法ヲ選修スル法律學科並ニ文科大學ノ獨逸文學科佛蘭西文學科ニ志望スル者ニ對シテハ外國語ノ授業時數ヲ左ノ如ク變更ス

學科	學年	第一年	第二年	第三年
英語		四	四	四
獨語又ハ佛語		一四	一四	一二

英語ヲ以テ入學シ法科大學ノ政治學科ニ志望スル者ノ外國語ノ教授時數ハ本人ノ志望ニ依リ前項ニ依ルコトヲ得(明治四十二年文部省令第二十七號ヲ以テ改正)隨意科トシテ法科大學志望者ニ課スヘキ羅旬語ノ授業時數左ノ如シ

學科	學年	第一年	第二年	第三年
				二

第二部

學科	學年	第一年	第二年	第三年
倫理				一
國語		三		
英語		八	七	四



獨語又ハ佛語	八	七	四
數學	五	四	六
物理學		三	三
化學		三	講義三 實驗二 五
地質及鑛物學		四	二
圖畫	四	四	二
體操	三	三	三
計	三一	三一	三〇

第三年ニ於テ醫科大學ノ藥學科理科大學ノ動物學科植物學科地質學科鑛物學科並ニ農科大學ノ農學科農藝化學科林學科獸醫學科志望者ニハ數學ヲ缺キ工科大學及理工科大學ノ土木工程學科機械工學科工科大學ノ造船學科建築學科理科大學及理工科大學ノ數學科物理學科及

理科大學ノ星學科志望者ニハ化學ノ實驗ヲ缺キ理科大學ノ各學科理科大學ノ數學科物理學科純正化學科及農科大學志望者ニハ圖畫ヲ缺ク(明治三十五年文部省令第十號ヲ以テ改正)(明治四十二年文部省令第十五號ヲ以テ改正)

醫科大學ノ藥學科理科大學ノ動物學科植物學科地質學科鑛物學科並ニ農科大學志望者ニ課スヘキ動物及植物ノ授業時數左ノ如シ(上)同(上)同

學科	第一	第二	第三
動物及植物			講義四 實驗二

工科大學及理工科大學ノ土木工程學科機械工學科電氣工學科採鑛及冶金學科工科大學ノ造船學科建築學科理科大學及理工科大學ノ數學科物理學科理科大學ノ星學科並ニ農科大學ノ農學科農藝化學科林學科志望者ニ課スヘキ測量ノ授業時數左ノ如シ



關係法令

二〇

學科	學年	第一年	第二年	第三年
測量				三

隨意科トシテ醫科大學ノ藥學科理科大學ノ動物學科植物學科地質學科礦物學科並ニ農科大學ノ獸醫學科志望者ニ課スヘキ羅旬語ノ授業時數左ノ如シ (上同) (上同)

學科	學年	第一年	第二年	第三年
羅旬語				二

第三部

學科	學年	第一年	第二年	第三年
倫理				一
國語		三		

獨語ヲ以テ入學シタル者ニ對シテハ外國語ノ授業時數ヲ左ノ如ク變更ス

獨語	英語又ハ佛語	羅旬語	數學	物理	化學	動物及植物	體操	計
一三	三		三			四	三	二九
一三	三		二			實驗 三	三	三〇
一〇	三	二			講義 實驗 三 三 六		三	三一

關係法令

二一



獨語	九	九
英語又ハ佛語	七	七
		五
		八

第六條 前條ノ各學科ハ生徒卒業後分科大學各學科ノ授業ヲ受クルニ足ルヘキ豫備ノ程度ヲ以テ標準トナスヘシ

第七條 學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ分科大學某科志望者ニ課スヘキ一學科若ハ數學科ヲ其學校ニ置カサルコトヲ得

七 高等學校大學豫科入學資格ニ關スル規程(抄)

高等學校大學豫科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當シ且體格検査ヲ受ケ之ニ合格シタル者タルヘシ

- 一 中學校ヲ卒業シタル者
- 二 專門學校入學者檢定規程ニ依ル試験檢定ニ合格シタル者

三 專門學校入學者檢定規程第八條第一號ノ指定ヲ受ケタル者但シ某學校ノ入學ニ限り指定ヲ受ケタル者ヲ除ク

八 文部省直轄學校外國人特別入學規程

第一條 外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科ノ一科若ハ數科ノ教授ヲ受ケントスル者ハ外務省在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限り特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條 前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若ハ學校長ニ願出ツヘシ

第三條 帝國大學總長若ハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限り之ヲ許可スヘシ但シ學校ノ設備



上差支アル場合ハ此ノ限ニアラス

第四條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試驗ノ上之ヲ附與スヘシ

第五條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試驗料入學料及授業料ヲ徴收セサルコトヲ得

第六條 帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

\* \* \* \* \*

九 第八高等學校ニ大學豫科設置

第八高等學校ニ大學豫科ヲ設置シ明治四十一年九月十一日ヨリ授業ヲ開始ス

十 文部省直轄諸學校生徒ノ學校長ノ許可ナクシテ受ケタル

他ノ直轄諸學校入學試驗無効ニ關スル規定 (明治三十八年文部省令第十八號)

文部省直轄諸學校ノ生徒ニシテ豫メ學校長ノ許可ヲ受ケス他ノ文部省直轄諸學校ノ入學試驗ヲ受ケタルトキハ其ノ入學試驗ハ無効トス

十一 高等學校大學豫科入學者選抜試驗規程

第一條 選抜試驗ハ入學志望者ノ數當該高等學校生徒募集人員ニ超過シタルトキ之ヲ行フ

第二條 各高等學校ニ入學セシムヘキ生徒ノ概數及選抜試驗施行ノ期日ハ文部大臣之ヲ告示ス

第三條 選抜試驗ノ學科目ハ中學校ノ學科目(法制經濟及唱歌ヲ除ク)中ニ就キ毎回文部大臣之ヲ告示ス  
前項試驗ハ中學校卒業ノ程度ニ據ル



第四條 選拔試験ハ高等學校長之ヲ行フ

第五條 選拔試験ヲ受ケントスル者ハ其ノ入學後修業セントスル部類ヲ指定スヘシ

指定スヘキ部類ハ左ノ如シ(明治四十二年文部省令第十九號ヲ以テ改正)

第一部 甲類	英語 法律 科	第二部 甲類	工 科
第一部 乙類	英語 文 科	第二部 乙類	農 理 科
第一部 丙類	獨語 法律 科	第三部	醫 科
第一部 丁類	佛語 法律 科		醫科ノ内藥學科
	獨語 文 科		
	佛語 文 科		

入學志望者ハ志望類二箇以上同一部内ノ類ニ限ルヲ併セ指定スルコトヲ得此場合ニ於テハ其ノ志望類ノ順位ヲ定ムヘシ

第六條 選拔試験ヲ受ケタル者ハ之ヲ第一部第二部及第三部ノ三部ニ分テ其ノ試験ノ成績順ニ依リ各高等學校ニ於テ各部募集ノ總員ト同

數ノ人員ヲ選出シ其ノ内ニ就キ左ノ方法ニ依リ入學セシムヘシ

一 選拔試験成績順ニ依リ本人ノ指定スル第一ノ志望類ニ配當ス

二 第一號ノ場合ニ於テ成績相同シキトキハ抽籤ニ依ル

三 第一號第二號ニ依リ配當ノ結果本人ノ指定スル第一ノ志望類已ニ滿員トナリ配當スルコトヲ得サル者ニ就キテハ更ニ成績順ニ

依リ本人ノ指定スル第二以下ノ志望類ニシテ缺員アルモノニ配當ス

四 第三號ノ場合ニ於テ成績相同シキトキハ志望類ノ順位ニ依ル

五 第三號ノ場合ニ於テ成績及志望類ノ順序相同シキトキハ抽籤ニ依ル

六 前數號ニ依リ配當ノ結果本人ノ指定スル志望類悉ク滿員トナリタルトキハ入學スルコトヲ得サルモノトス

前項ニ依リ配當ノ結果又ハ事故ノ爲入學者ニ缺員ヲ生シタルト



キハ前項選出入員以外ニ就キ更ニ前項ノ方法ニ依リ之ヲ補填ス  
ヘシ

\* \* \* \* \*

十二 文部省直轄諸學校ノ二學校以上ニ入學出願者ノ入學ス

ヘキ學校

同一人ニシテ文部省直轄諸學校中ノ二箇以上ノ學校ニ入學ヲ出願シタル者ハ其ノ最前ニ入學ヲ許可セラレタル學校ニ入學スヘキモノトス但シ同時ニ二箇以上ノ學校ニ入學ヲ許可セラレタル者ノ入學スヘキ學校ハ本人ノ選擇ニ任ス

十三 大學豫科學力檢定規程

高等學校ノ卒業生ニアラスシテ帝國大學分科大學へ入學志願ノ者アルトキハ別紙規程ニ依リ大學豫科學力試驗ヲ施行スヘシ(明治二十八年七月十六日名稱訂正文部大臣裁定)

大學豫科學力檢定規程

第一 大學豫科學力檢定試驗ハ帝國大學分科大學ヨリ其入學志願者ノ學力檢定試驗執行ノ通告アル場合ニ限り高等學校ニ於テ施行スルモノトス

第二 大學豫科學力檢定試験ハ高等學校大學豫科卒業ノ程度ニ據ル但官立府縣立中學校又ハ之ト同等ト認ムヘキ公私立中學校ノ卒業證書ヲ有セサル者ニハ先ツ中學校ノ學力檢定試験ヲ行フモノトス

第三 大學豫科學力檢定試験ハ毎年七月又ハ九月ニ於テ一回之ヲ施行ス

第四 大學豫科學力檢定試験ヲ受ケントスル者ハ受験料金五圓ヲ納ムヘシ但既納ノ受験料ハ受験者ノ都合ニ依リ試験ヲ受ケサルコトアルモ返付セス

第五 試験合格者ニハ左式ノ證明書ヲ交付スヘシ(證明書式略ス)



### 第四學則

#### 第一章 學科

第一條 本校ノ學科ハ明治三十三年文部省令第十三號所定ノ大學豫科  
第一部第二部及第三部トス

第二條 前條各部ノ學科目中外國語ハ英語及獨語ノ二種トス

#### 第二章 學年學期及休業

第三條 學年ハ九月十一日ニ始マリ翌年九月十日ニ終ル

第四條 學年ニ三學期ヲ設ク

第一學期ハ九月十一日ヨリ十二月二十四日ニ至リ第二學期ハ一月八日ヨリ三月三十一日ニ至リ第三學期ハ四月八日ヨリ七月十日ニ至ル

第五條 休業日左ノ如シ

日曜日

大祭日

天長節 十一月三日

紀元節 二月十一日

冬季休業 十二月二十五日ヨリ翌年一月七日ニ至ル

春季休業 四月一日ヨリ四月七日ニ至ル

夏季休業 七月十一日ヨリ九月十日ニ至ル

#### 第三章 入學及在學

第六條 入學ノ期ハ每學年ノ初トス

第七條 入學ヲ志望スル者ハ入學志望者名票ニ寫眞及檢定料ヲ添へ本校ニ差出スヘシ

第八條 檢定料ハ金五圓トス

一旦納付シタル檢定料ハ何等ノ事情アリトモ之ヲ還付セス

第九條 入學志望者ハ其ノ入學後修業セントスル部類ヲ指定スヘシ



指定スヘキ部類ハ左ノ如シ

第一部甲類 英語法律科、政治科、經濟科、商科

第一部乙類 英語文科

第一部丙類 獨語法律科、政治科、獨語文科

第二部甲類 工科

第二部乙類 理科、農科、醫科ノ内藥學科

第三部 醫科

入學志望者ハ志望ノ部類二箇以上同一部内ノ類ニ限ルヲ併セ指定スルコトヲ得此場合ニ於テハ其ノ志望ノ順位ヲ定ムヘシ

第十條 各部類入學志望者ノ數入學セシムヘキ者ノ數ニ超過スルトキハ選抜試験ヲ行フ

第十一條 入學後ニ於テ修業部類ヲ變更スルコトヲ許サス但第一部甲類ヨリ同乙類ニ又ハ第二部甲類ヨリ同乙類ニ轉科セントスル者ニ對

シテハ缺員アル場合ニ限り許可スルコトアルヘシ  
在學中修業部類變更ノ爲メ選抜試験ヲ受ケントスルトキハ校長ノ許可ヲ受クヘシ

第十二條 入學ノ許可ヲ受ケタル者ハ指定ノ期日迄ニ履歷書ニ入學料金壹圓ヲ添へ本校ニ差出シ且明治四十一年文部省令第九號ノ入學資格ヲ證明スヘキ卒業證書又ハ證明書ヲ提出シ本校ノ檢閲ヲ受クヘシ前項ノ手續ヲ了セサル者ニ關シテハ其ノ入學ノ許可ヲ無効トス一旦納付シタル入學料ハ如何ナル事情アリトモ之ヲ還付セス

第十三條 入學シタル者ハ宣誓ヲ爲シ且在學中保證ノ責ニ任スヘキ父兄ノ宿所氏名ヲ届出ツヘシ但本文ニ該當スル父兄ナキトキハ之ニ代ルヘキ者ヲ定メ本文ノ手續ヲ爲スヘシ

第十四條 退學セシ者及除名セラレタル者再入學ヲ願フトキハ詮議ノ上之ヲ許可スルコトアルヘシ



第四章 成績考査

第十五條 各學年第三學期末ニ於テ生徒ノ學業成績ヲ考査シテ學年成績及卒業成績ヲ定ム

第十六條 學年成績ハ當該學年ニ於ケル勤怠平常成績及試験ノ成績ヲ參酌シテ之ヲ定ム但學科目ノ種類ニ依リ試験ヲ行ハサルコトアルヘシ

第十七條 卒業成績ハ在學中ノ三學年成績ヲ參酌シテ之ヲ定ム

第十八條 試験ヲ分チテ通常試験及定期試験トス

通常試験ハ課業ノ進度ニ應シ隨時之ヲ施行ス

定期試験ハ學期末ニ於テ之ヲ施行ス

第十九條 學業成績ハ科目評點及平均評點ヲ以テ表示シ一百ヲ以テ最高點トス

第二十條 試験ニ缺席シタル者ノ評點ハ當該學期ニ於ケル平常成績ヲ

參酌シテ之ヲ定ム但一學年間ニ二回以上定期試験ヲ受ケサル者ハ特別ノ詮議ニ依ル外進級又ハ卒業セシムルコトナシ

第二十一條 缺席休學停學等ノ爲メ平常成績ノ考査ヲ爲ス能ハサル者ニ就テハ隨機ノ處分ヲ爲ス

第二十二條 學年評點左ノ條件ノ一ニ該當スル者ハ進級又ハ卒業スルコトヲ得ス

一、平均評點六十未滿ナルコト

二、一科目ノ評點四十未滿ナルコト

三、科目評點五十未滿ノモノ二科目以上アルコト

四、科目評點六十未滿ノモノ四科目以上アルコト但科目總數九科目以上ノ場合ニハ本文ニ該當スルモノ五科目以上アルコト

第二十三條 進級又ハ卒業ノ判定ハ前條ニ依ル外平素ノ行狀及學業進歩ノ狀況ヲ參酌シテ黜陟スルコトアルヘシ



第二十四條 進級又ハ卒業セサル者ハ次學年ニ於テ再ヒ原學年ノ各學科目ヲ履修セシム

第五章 特待生

第二十五條 品行方正學業成績優等ナル生徒中若干名ヲ選拔シテ特待生トス

第二十六條 特待生ハ每學年之ヲ定メ其ノ特待生タル期間ハ次ノ一學年間トス

第二十七條 特待生ニ對シテハ授業料ヲ徵集セス

第二十八條 特待生ニシテ其名譽ヲ汚辱スル行爲アリト認メタルトキハ之ヲ止ム

第六章 授業料

第二十九條 授業料ハ一學年金參拾圓トス

第三十條 授業料ハ左ノ三期ニ分納セシム

第一學期分 金拾貳圓

第二學期分 金九圓

第三學期分 金九圓

納付期日ハ細則ヲ以テ之ヲ定ム

第三十一條 授業料ハ缺席休學停學等ノ爲メ之ヲ免除スルコトナシ但

第三十六條ニ依リ休學スル者ニ對シテハ次學期以降ノ分納額ヲ免除ス

第三十二條 學年ノ半途ニ退學シタル者ニ對シテハ次學期以降ノ授業料分納額ヲ免除ス

第三十三條 既納ノ授業料ハ何等ノ事情アリトモ之ヲ還付セス

第三十四條 第三十六條ニ依リ休學セル者休學ノ事故止ミテ學年ノ半途ヨリ出席シタルトキハ當該學期ノ分納額ハ一箇月金參圓ノ割合ヲ以テ其ノ月分ヨリ之ヲ徵集シ指定ノ期日ニ於テ一時ニ納付セシム但



第三學期分授業料ノ月割ニ關シテハ七月ヲ算入セス

第七章 休學及退學

第三十五條 疾病又ハ止ヲ得サル事故ニ依リ二箇月以上修學スルコト能ハサル見込ノ者ハ願ニ依リ當該學年間休學ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十六條 陸軍又ハ海軍現役ニ服シ若ハ召集ニ應スル者ハ其ノ服役又ハ召集ノ間休學トス

第三十七條 休學ノ許可ヲ得タル者ハ次學年ノ初ヨリ原學年ノ課程ヲ修メシム

前條ニ依リ休學シタル者ハ服役滿期又ハ召集解除後三週間以内ニ於テ原學年ニ復スヘシ

第三十八條 休學ハ同一學年ニ於テ一回一箇年以内ニ限ル但第三十六條ニ依ル休學ハ此限ニアラス

第三十九條 生徒退學セントスルトキハ其ノ事由ヲ申出ツヘシ

第四十條 左ノ各號ノ一ニ當ル者ハ之ヲ除名ス

一、 正當ノ事由ナクシテ引續キ三箇月以上缺席セル者

二、 出席常ナラサル者

三、 學業劣等ニシテ成業ノ見込ナキ者

四、 授業料又ハ學寮費ノ怠納三十日ニ及フ者

第四十一條 除名ニ關シテハ前條ノ外臨機ノ處分ヲ爲スコトアルヘシ

第八章 懲戒

第四十二條 學紀風紀ヲ紊亂シ其他生徒ノ本分ニ背戾スル者ハ之ヲ懲戒ス

懲戒ハ形跡ニ拘ハラズ主トシテ德義ニ基キテ之ヲ斷ス

第四十三條 懲戒ハ之ヲ分チテ戒飭謹慎放校ノ三トス

謹慎ニハ停學ヲ附加スルコトアルヘシ



第四十四條 戒飭ハ訓誨ヲ加ヘテ將來ヲ戒メ謹慎ハ一定時間特別ノ監督ノ下ニ反省セシメ放校ハ學校ヨリ放逐ス

第九章 校章及服制

第四十五條 本校ノ徽章ヲ第一校章及第二校章トス其ノ様式左ノ如シ(様式略ス)

第四十六條 第一校章ハ制帽ノ前章トシ其ノ他校長ノ特ニ指定シタル場合ニ於テ之ヲ用フルモノトス

第四十七條 第二校章ハ衣釦紋章其ノ他ノ記號ニ用フルモノトス

第四十八條 本校生徒ノ制服ハ正帽衣袴靴略帽夏衣夏袴脚絆トス

前項制服ノ服制左ノ如シ

一、正帽

製式 丸形

品質 羅紗

色 黒

前章 眞鍮製金色第一校章縦徑八分横徑九分五厘

横章 白線二條(幅各二分)

頤紐 黒革(幅三分五厘) 釦(眞鍮製金色圓形徑三分五厘第二校章ヲ附ス)

二、衣

製式 脊廣形立襟(襟角形)「ポケット」ハ上衣ノ左右兩脇及左胸部ニ各一箇トス

品質 小倉又ハ「ヘル」

色 濃紺

襟章 第一部ハI、第二部ハII、第三部ハIII(眞鍮製金色縦徑五分)

釦 煉製黒色徑七分第二校章ヲ附ス(一列五箇)

三、袴



製式 普通

品質 小倉又ハヘル

色 濃紺

四、靴

品質 革又ハブーツク

色 黒

五、略帽

製式及品質 麥藁製普通形(縁約二寸高約二寸七分)

鉢卷 黒色(幅約一寸)

前章 正帽ニ同シ

六、夏衣及夏袴

製式、釦襟章ハ二三ニ同シ

品質 小倉綾織

色 藍鼠霜降

七、脚袴

製式 圖ノ如シ(圖略ス)

品質 綿布、麻布又ハ羅紗

色 濃紺又ハ黒

第四十九條 前條制服ノ外左ノ製式ニ依リ外套ヲ用フルコトヲ得

製式 圖ノ如シ(圖略ス)

品質 羅紗

色 黒(裏地ヲ附スル場合ニハ同色)

釦 眞鍮製金色第二校章ヲ附ス(前部二列各五箇徑八分背部二箇徑八分二箇徑五分)

第十章 學寮

第五十條 學寮ハ生徒ヲ居住セシメ本校ノ教育ト相俟ツテ之ヲ訓育ス



ル處トス

第五十一條 學寮ハ毎年九月六日ニ開キ七月十二日ニ閉ツ

第五十二條 新ニ入學シタル生徒ハ特別ノ事情ニ依リ通學ノ許可ヲ受

ケタルモノ、外總テ學寮ニ入ルヘキモノトス

第五十三條 前條以外ノ生徒ニシテ入寮セント欲スルモノハ願出テ許

可ヲ受クヘシ

第五十四條 學寮生徒ニシテ退寮セント欲スルモノハ其ノ事由ヲ具シ

願出テ許可ヲ受クヘシ

第五十五條 學寮生徒ニシテ疾病ニ罹リタルトキハ退寮又ハ外泊セシ

ムルコトアルヘシ

第五十六條 學寮費ハ一箇月金壹圓トシ七月ヲ除キ毎月指定ノ日ニ之

ヲ納メシム

既納ノ學寮費ハ何等ノ事情アリトモ之ヲ還付セス

第五十七條 學寮生徒ニシテ其ノ本分ニ背戻スル行爲アリト認ムルト  
キハ情狀ニヨリ退寮ヲ命スルコトアルヘシ

第十一章 圖書及器械

第五十八條 本校所有ノ圖書ハ總テ之ヲ書庫ニ藏ス

第五十九條 書庫ニ於テハ本校所藏ノモノ、外他ノ委託ニ係ル圖書ヲ

保管スルコトアルヘシ

第六十條 教務及事務上特ニ必要ノ圖書ハ校長ノ許可ヲ得テ特別ノ場

所ニ備ヘ置クコトヲ得

第六十一條 職員ハ校長ノ定ムル所ニ依リ本校所藏ノ圖書ヲ借受クル

コトヲ得

第六十二條 圖書ヲ閱覽スルコトヲ得ル者ハ職員及生徒第五十九條ノ

圖書委託者其ノ他校長ノ特許ヲ得タル者ニ限ル

第六十三條 本校所定ノ規則ニ違反シ又ハ其ノ他不都合ノ行爲アルモ



ノハ圖書ノ閱覽ヲ停止スルコトアルヘシ

第六十四條 本校所藏ノ學術用器械ハ各所屬教室ニ備付ク

第六十五條 生徒ハ擔任教官ノ許可ヲ受ケ實習用器械ヲ使用スルコトヲ得

第六十六條 本校ノ圖書器械ヲ紛失毀損又ハ汚染シタルトキハ其ノ損害ノ程度ニ依リ同一ノ物品ヲ以テ之ヲ償ハシムルカ若ハ其ノ修理ヲ負擔セシムルコトアルヘシ

### 第五 生徒心得

本校生徒タルモノハ徳性ヲ涵養シ知能ヲ鍊磨シ以テ國家有用ノ器材タラシムコトヲ期スヘシ居常守ルヘキ道多端ナリト雖モ茲ニ其ノ標的トスヘキ大綱ヲ舉示スルコト左ノ如シ

- 一、 志操ヲ固クシ實行ヲ勵ミ學業徳器ノ大成ヲ期スヘキコト
- 二、 身體精神ヲ鍛鍊修養シ剛健快活ノ氣象ヲ振起スヘキコト
- 三、 獨ヲ慎ミ己ニ克チ忠信廉恥ノ心ヲ存スヘキコト
- 四、 規律ヲ守リ責任ヲ重シ謹恪重厚ノ風ヲ持スヘキコト
- 五、 師長ヲ尊敬シテ温恭自虚ノ道ヲ盡クシ朋友ヲ親愛シテ協同融和ノ實ヲ舉クヘキコト



### 第六 細 則

#### 一 學則施行細則

##### 第一章 學科及授業

第一條 學則第一條ニ依ル學科ハ別ニ定ムル教授要目ニ依リ之ヲ實施ス

第二條 高等學校大學豫科學科規程第五條ニ依リ分科大學某學科志望者ニ課スル課程ヲ修メントスル者ハ前學年第二學期ノ終迄ニ其志望ヲ届出ツヘシ隨意科ヲ修メントスル者亦同シ

第三條 學則第十一條但書ニ依リ修業部類ノ變更ヲ許可スルハ第一年及第二年ニ在リテハ學期ノ始第三年ニ在リテハ學年ノ始ニ限ル

第四條 每週授業ノ日課ハ學年ノ始ニ之ヲ定ム但場合ニ依リ學年ノ半途ニ之ヲ變更シ又ハ臨時日課ヲ變更スルコトアルヘシ

第五條 一授業時ヲ五十分トス

實驗製圖實習體操ニ於テハ一授業時ヲ延長シ又ハ二時以上連續授業スルコトアルヘシ

第六條 特別ノ事情ニ依リ教官ニ於テ臨時所定ノ日課ヲ變更スル必要アリト認ムルトキハ校長ニ申告シテ指揮ヲ受クヘシ

第七條 休業日ノ外左ノ場合ニ於テハ日課所定ノ授業ヲ缺ク

一、 試験檢閱儀式修學旅行又ハ其他ノ行事ヲ以テ授業ニ代ヘタルトキ

二、 教官ノ出張賜暇忌引缺勤ニ依リ授業セサルトキ

第八條 前條ニ依リ授業ヲ缺キタル結果學業ノ進歩ニ妨アリト認ムルトキハ所定日課以外ノ授業ヲ課スルコトアルヘシ

第九條 教科用圖書ハ學科主任及擔任教官ノ意見ヲ聞キ校長之ヲ定ム

#### 第二章 編 制



第十條 學級ハ第一學年ノ始ニ編制シ之ヲ組ト稱ス  
組ハ三學年ヲ通シテ變更セサルヲ常例トス

第十一條 各學級ニ級總代二人ヲ置ク

級總代ハ當該學級生徒ヲシテ定員二倍ノ候補者ヲ互選セシメ其中ニ就キ校長之ヲ命ス

第十二條 級總代ハ別ニ定ムル學級主任ノ指揮ヲ受ケ當該學級ノ一切ノ世話ヲ爲スモノトス

第十三條 級總代ノ任期ハ一箇年トス

第十四條 全生徒ヲ以テ生徒隊ヲ編成ス

生徒隊部隊ノ編成ハ別ニ之ヲ定ム

第三章 成績考查試驗檢閲

第十五條 學業成績評點科目數ヲ定ムルコト左ノ如シ

第一部

倫理	國語及漢文	英語	獨語	歷史	論理及心理	法學通論	經濟通論	數學	物理	第一一年		第二二年		第三三年		
										甲乙類	丙類	甲乙類	丙類	甲類	乙類	丙類
	二	二	二	一												
	二	一	三	一				○								
	二	二	二	一	○			○								
	二	一	三	一	○			○								
	二	二	二	一		一										
	二	二	二	一					○							
	二	一	三	一					○							







英	語	一	
羅	甸	語	一
數	學	一	
物	理	學	二
化	學	二	
動物及植物		一	
體	操	一	
計		八	
		九	
		一	
		一	

隨意科ノ科目評點ヲ學則第二十二條ノ條件ニ加フルハ本人ノ志望ニ依ル

第十六條 各教官ハ每學期末ニ於テ其擔任ニ屬スル科目評點ヲ定ム但一科目ヲ數人ニテ擔任スルトキハ合議ノ上之ヲ定ム

第十七條 各科目ノ學年評點ヲ定ムルニハ第一次評點三、第二次評點四、第三次評點五ノ比ヲ以テ參酌平均ス

第十八條 各科目ノ卒業評點ヲ定ムルニハ第一學年評點二、第二學年評點三、第三學年評點五ノ比ヲ以テ參酌平均ス

第十九條 在學生徒ノ席次ハ前學期末又ハ前學年末ノ成績ヲ按シ每學期各學級ニ就キ校長之ヲ定ム卒業席次ハ卒業成績ヲ按シ各書類ニ就キ校長之ヲ定ム

第二十條 試驗ハ體操ヲ除ク外各學科ニ就キ之ヲ行フ

第二十一條 通常試驗ハ每學期一回以上施行スルヲ常例トス其期日ハ擔任教官之ヲ定メ施行後學級主任ニ通報スヘシ之ヲ豫メ生徒ニ告知スル場合ニハ前以テ學級主任ニ協議スルヲ要ス此告知ノ日ハ試驗ノ期日ト五日以上ヲ隔ツヘカラス

第二十二條 定期試驗ハ別ニ時間割ヲ定メテ之ヲ行フ



第二十三條 第一次定期試験ハ第一學期ニ於テ履修セル部分ニ就キ施行ス

第二次定期試験ハ第一學期及第二學期ニ於テ履修セル部分ニ就キ施行ス

第三次定期試験ハ主トシテ第二學期及第三學期ニ於テ履修セル部分ニ就キ施行ス

第二十四條 試験問題ハ擔任教官之ヲ定メ其ノ定期試験ニ關スルモノハ試験施行後三日以内ニ報告スヘシ

第二十五條 檢閲ハ生徒隊規律ノ張弛志氣ノ振否服装ノ整否及教練ノ進歩ヲ檢スル爲メ之ヲ行フ

第二十六條 檢閲ハ定期檢閲及臨時檢閲トシ定期檢閲ハ每學期一回之ヲ行フ

第二十七條 檢閲ノ期日及方法ハ校長ノ命ニ依リ其ノ實施ハ體操教官

之ヲ擔任ス

檢閲成績ハ體操教官ニ於テ學業成績考查ノ參考トス

第四章 授業料

第二十八條 授業料納付期日ヲ定ムルコト左ノ如シ

第一學期分 其年九月十一日ヨリ同月二十日ニ至ル

第二學期分 其年一月八日ヨリ同月二十日ニ至ル

第三學期分 其年四月八日ヨリ同月二十日ニ至ル

第五章 在學及休學

第二十九條 生徒ハ左記ノ一ニ該當スル者ヲ除ク外入學後一學年間ハ總テ學寮ニ入ルヘク其後ハ學寮又ハ本校公認下宿ニ入ルヘシ但特別ノ事情アルモノハ願出ニヨリ審査ノ上他ヨリ通學ヲ許可スルコトアルヘシ

一、 自宅ヨリ通學スルモノ



二、職員宅ヨリ通學スルモノ

三、親戚宅ヨリ通學スルモノ

第三十條 生徒遅刻又ハ缺席スルトキハ其當日ヨリ三日以内ニ事由ヲ詳記シ届出ツヘシ但病氣缺席一週日ニ渉ルモノハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第三十一條 生徒ハ異動ノ有無ニ拘ハラズ毎年九月十一日ヨリ同月二十五日迄ニ所定ノ書式ニヨリ宿所ニ關スル届出ヲ爲スヘシ

第三十二條 生徒宿所ヲ變更シタルトキハ三日以内ニ前條ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十三條 生徒父兄ニ關スル届又ハ宿所ニ關スル届ニ記載ノ事項ニ異動ヲ生シタルトキハ直ニ届出ツヘシ

第三十四條 生徒ノ宿所ヲ不適當ナリト認ムルトキハ轉宿ヲ命スルコトアルヘシ

第三十五條 通學生徒歸省旅行又ハ外泊ヲナスコト一週日ニ渉ル場合ニハ事由及旅行先又ハ外泊先ヲ詳記シ豫メ届出ツヘシ

第三十六條 疾病ニ依リ休學セントスル者ハ其願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第三十七條 陸軍又ハ海軍現役ニ服シ若ハ召集ニ應シタル者ハ其役名服役又ハ召集ノ期間及部隊又ハ艦艇名ヲ具シ三日以内ニ届出ツヘシ  
第三十八條 生徒ヨリ提出スル總テノ願届書ハ特ニ規定アルモノヲ除ク外指導教官ノ承認ヲ經テ生徒課ニ差出スヘシ

第六章 服 裝

第三十九條 生徒登校スル場合ニハ必ス規定ノ制服ヲ着用スヘシ但脚絆ハ特ニ指定シタル場合ノ外著用セサルコトヲ得

第四十條 止ムヲ得サル事由ニ依リ制服ヲ着用スルコト能ハサル者ハ其事由ヲ詳記シ之ヲ届出ツヘシ



第四十一條 儀式ノ場合ニハ冬服及正帽ヲ着用スルヲ正装トス

第四十二條 生徒外出ノ際ハ成ルヘク制服ヲ着用スヘシ若シ和服ヲ着用スルトキハ必ス袴及制帽ヲ著クヘシ

第四十三條 夏服着用期間ハ六月一日ヨリ九月三十日迄トス但時宜ニ依リ本文ノ期間ヲ伸縮スルコトアルヘシ

第四十四條 夏服着用期間ニ於テハ儀式ノ場合體操教授ヲ受クル場合及特ニ指定シタル場合ノ外ハ略帽ヲ以テ正帽ニ代用スルコトヲ得

第四十五條 新ニ入學セル生徒ニ對シテハ其年ノ十月一日ヨリ本章ノ規定ヲ適用ス

### 第七章 學寮

第四十六條 學寮生徒ハ生徒監指導ノ下ニ秩序ヲ保チ風紀ヲ維持スヘシ

第四十七條 各室人員ノ配當ハ生徒監之ヲ定ム

第四十八條 寮内日課時限ハ校長ノ許可ヲ受ケ生徒監之ヲ定ム

第四十九條 學寮生徒ハ寮紀及規約ヲ定メ校長ノ認可ヲ經テ之ヲ實行スヘシ規約ヲ以テ定ムヘキ事項左ノ如シ

一、寮内ノ秩序整頓及風儀ニ關スルコト

二、寮内ノ清潔及衛生ニ關スルコト

三、炊事々務炊事監督ニ關スルコト

四、其他必要ナル事項

第五十條 各寮ニ委員二人各室ニ總代一人ヲ置キ任期ヲ一學期トス總代ハ各室生徒互選トシ生徒監ノ認可ヲ經テ就任ス

委員ハ各寮總代ノ互選セル候補者ニ就キ校長之ヲ命ス

第五十一條 寮委員ハ生徒監ノ指示ニ從ヒ寮内整理ノ責ニ任シ寮紀規約ノ實行ヲ督勵ス

第五十二條 總代ハ室内整理ノ責ニ任シ兼テ室員ヲ代表ス



第五十三條 止ムヲ得サル事情アリテ所定ノ時限外ニ外出セントスルモノハ豫メ生徒監ノ許可ヲ受クヘシ

第五十四條 外出中止ムヲ得サル事情アリテ歸寮時限ニ遅レタルモノハ其事由ヲ詳記シ翌日中ニ届出ツヘシ

第五十五條 止ムヲ得サル事情アリテ外泊セントスルモノハ豫メ生徒監ノ許可ヲ受ケ歸寮ノ際外泊先ノ證明書ヲ差出スヘシ

外出中俄ニ外泊スルノ止ムヲ得サル事情ヲ生シ前項ノ手續ヲ履ム能ハサルトキハ當日歸寮時限迄ニ其事由ト居所トヲ届出テ歸寮ノ際外泊先ノ證明書ヲ差出スヘシ

第五十六條 學寮生徒歸省又ハ旅行ヲナサントスルトキハ日數及旅行先ヲ明記シ願出テ生徒監ノ許可ヲ受クヘシ

第五十七條 各室備付ノ器具及電燈ハ許可ナクシテ他ニ移動セシムヘカラス

第五十八條 不注意又ハ怠慢ノ爲メ備付ノ器具又ハ電燈ヲ毀損シ又ハ紛失セシメタルモノハ之ヲ辨償セシム

第八章 圖書

第五十九條 本校所藏ノ圖書ハ擔任事務員ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第六十條 教官ハ必要ノ場合ニ於テ書庫ニ入り圖書ヲ檢索スルコトヲ得

第六十一條 學則第六十條ニ依リ特別ノ場所ニ備付タル圖書監守ニ關シテハ當該場所物品監守者其責ニ任ス

第六十二條 教官ハ一員二十冊其他ノ職員ハ一員十冊ヲ限リ本校所藏ノ圖書ヲ借受クルコトヲ得但和漢裝ノモノハ本文冊數ヲ倍スルコトヲ得

第六十三條 貴重圖書、閱覽室備付ニ缺クヘカラサル圖書及ヒ一員ニシテ同一ノ圖書一部以上ハ之ヲ借受クルコトヲ得ス



第六十四條 圖書ヲ借受ケント欲スル者ハ圖書課ニ就キ所定ノ手續ヲナスヘシ借受ケタル圖書ハ之ヲ轉貸スヘカラス

第六十五條 借受ケタル圖書ハ毎年七月十日迄ニ悉皆返納スヘシ但時宜ニ依リ臨時返納セシムルコトアルヘシ

第六十六條 生徒圖書閱覽ノ證トシテ閱覽券ヲ設ケ每學年ノ始メ圖書課ニ於テ之ヲ交付ス

第六十七條 本校ノ職員生徒ニアラスシテ圖書ヲ閱覽スル者ニ對シテハ圖書閱覽特許證ヲ附與ス

第六十八條 閱覽券及閱覽特許證ハ之ヲ他ニ轉貸スヘカラス若シ之ヲ紛失又ハ汚損シタルトキハ速ニ其旨圖書課ニ届出ツヘシ

第六十九條 圖書閱覽室ハ左ノ期間之ヲ閉ツ

- 一 八月一日ヨリ八月三十一日マテ
- 一 十二月二十八日ヨリ一月五日マテ

一 祝日大祭日

前項ノ外臨時閉室スルコトアルヘシ  
圖書閱覽室閉閉ノ時限ハ其時々之ヲ定ム

第七十條 圖書ヲ閱覽セントスル者ハ所定ノ用紙ニ一切ノ手續ヲ了シ閱覽券ト共ニ之ヲ係員ニ差出ス可シ但閱覽室備付ノ圖書ト雖モ時宜ニ依リ閱覽ヲ拒絕スルコトアルヘシ

第七十一條 閱覽者ハ閱覽終レハ直ニ圖書ヲ返納スヘシ  
閱覽者ハ圖書ヲ閱覽室外ニ携帯スルコトヲ得ス

第七十二條 閱覽者ハ一時ニ洋書五冊和書十冊以上ヲ借覽スルコトヲ得ス

二 生徒心得細則

第一條 生徒ハ本校職員ニ對シテハ勿論相互ニ敬禮スヘシ



- 第二條 生徒ハ酒類ヲ飲用スヘカラス
- 第三條 校内ニ於テハ所定ノ場所ノ外喫烟スヘカラス
- 第四條 生徒揭示ヲナサントスル時ハ生徒課ノ許可ヲ受クヘシ
- 第五條 生徒集會ヲ催ストキハ豫メ生徒課ニ届出ツヘシ
- 第六條 告示ハ所定ノ場所ニ揭示シタル以上ハ一般ニ知ラレタルモノト看做スヲ以テ生徒ハ常ニ揭示場ニ注意スヘシ

三 服務及處務細則

第一章 教官ノ服務

- 第一條 本細則ニ於テ教官ト稱スルハ教授助教ノ外講師及雇外國教員ヲ包含ス
- 第二條 教官ハ其分擔ノ範圍内ニ於テ校長ニ對シ生徒教育ノ責ニ任ス
- 第三條 生徒ノ教育ニ關スル事務ハ各教官ノ擔任トス

第四條 教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學科主任學級主任指導教官ノ事務ニ從事スヘシ

第五條 教官ハ校長ノ命ヲ承ケ分課ノ事務ニ從事スヘシ

第六條 教官ハ校長ノ命ヲ承ケ入學者選抜試験大學豫科學力檢定試験其他臨時ノ事務ニ從事スヘシ

第七條 教官ハ教授訓育其他學校ノ利害ニ關係アル事項ニ就キ意見アルトキハ之ヲ校長ニ具申スヘシ

第八條 教官ハ校長ノ許可ヲ受クルニアラサレハ報酬ノ有無ヲ問ハス他ノ職務ニ從事スルコトヲ得ス

第九條 第十二條乃至第二十二條ノ規定ハ之ヲ教官ノ服務ニ準用ス

第二章 事務員ノ服務

第十條 書記及雇員ハ校長ノ命ニ依リ課長ノ指揮ヲ受ケテ分課事務ニ從事スヘシ



雇員ハ前項ノ外特別教室ニ勤務セシムルコトアルヘシ此場合ニ於テハ當該教官ノ指揮ヲ受ケテ執務スヘシ

第十一條 事務繁劇ナルトキ至急處理ヲ要スルモノアルトキ又ハ所屬上官ヨリ特ニ命セラレタルトキハ執務時間外又ハ休日ト雖モ執務スヘシ

第十二條 疾病其他ノ事故ニヨリ出勤スルコト能ハサルトキハ當日執務時限前ニ事由ヲ記シ届出ツヘシ若病氣缺勤一週日ニ涉ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付シ爾後一週日ヲ加フル毎ニ同様ノ手續ヲナスヘシ

第十三條 執務時限中發病等ノ爲メ退出セントスルトキハ上官ノ承認ヲ受クヘシ

第十四條 父母ノ祭日ニ休暇ヲ要スルモノハ前日中ニ届出ツヘシ

第十五條 親屬ノ喪ニ遇ヒ忌服ヲ受クルトキハ其親屬關係ヲ記シ届出ツヘシ

第十六條 轉地療養父母ノ病氣看護又ハ父母ノ墓參ノ爲メ請暇セントスル者ハ日限及行先地ヲ記シ許可ヲ受クヘシ

第十七條 賜暇中旅行セントスルモノハ日限及旅行先地ヲ記シ出發前届出ツヘシ

第十八條 出張ノ命ヲ受ケタルモノハ出發及歸校ノ際其旨ヲ届出テ且歸校後五日以内ニ復命書ヲ差出スヘシ但簡單ナル事項ハ口頭ヲ以テ復命スルコトヲ得

第十九條 新任者ハ五日以内ニ住所ヲ届出ツヘシ

住所ヲ移轉シ又ハ氏名ヲ變更シタルトキハ其都度届出ツヘシ

第二十條 官廳其他ヨリ本校ヲ經由セスシテ辭令書ヲ受ケ其事項ノ履歷上ニ關係アルモノハ其都度届出ツヘシ

第二十一條 轉任免官休職等ノ際又ハ分課事務ヲ免セラレタルトキハ取扱事務ニ關スル書類及物品ノ引繼ヲナスヘシ



第二十二條 非常事故アルトキハ速ニ登校シ上官ノ指揮ヲ受クヘシ事  
急ヲ要スルトキハ當直者及登校者ニ於テ臨機ノ處置ヲナスヘシ

第三章 學校醫ノ服務

第二十三條 學校醫ハ校長ノ命ヲ受ケ學校衛生ニ關スル職務ニ従事ス

第二十四條 學校醫ハ毎月一回教授時間内ニ昇校シ衛生上ノ事項ヲ視  
察スヘシ

學期學年ノ始終ニ於テ特ニ視察ヲ必要トスルトキ亦同シ

第二十五條 學校醫ハ每週二回學寮ニ出頭シ衛生ニ關スル事項ヲ視察  
シ又疾病ニ罹レル生徒アラハ之ヲ診察スヘシ

第二十六條 學校醫ハ生徒ノ請求ニ應シ學校ニ差出スヘキ診斷書ヲ作  
成スヘシ

第二十七條 學校醫ハ明治三十三年文部省令第四號學生生徒身體檢查  
規程ニヨリ生徒ノ身體ヲ檢查シ身體檢查票ヲ調製スヘシ

第二十八條 學校醫ハ第二十四條及第二十五條ノ場合ノ外校長ヨリ請  
求アリタルトキハ臨時出頭執務スヘシ

第二十九條 學校醫ハ學校及學寮ノ近傍若クハ學校及學寮内ニ傳染病  
ノ發生シタルトキハ直ニ必要ナル豫防消毒方法ヲ施行シ尙ホ其情況  
ニヨリ學校又ハ學寮ノ全部若クハ一部分ノ閉鎖又ハ遮斷ヲ必要ト認  
ムルトキハ之ヲ校長ニ申告スヘシ

第三十條 學校醫ハ前各條ノ任務ノ外校長ヨリ請求アリタルトキハ臨  
時生徒ノ病症ヲ診斷シ又ハ身體ヲ檢查シ其他衛生ニ關スル事務ヲ執  
ルヘシ

第三十一條 學校醫ハ衛生上必要ト認メタル事項ニツキテハ校長ニ申  
告スヘシ

第四章 教育事務

第三十二條 各教官ノ擔任スヘキ教育事務概ネ左ノ如シ



- 一、生徒ノ操行ヲ調査スルコト
  - 二、生徒ノ勤怠ヲ調査スルコト
  - 三、生徒ノ學業成績ヲ調査スルコト
  - 四、教室内ノ秩序ヲ保持スルコト
  - 五、擔任學科教授要目ヲ調製スルコト
  - 六、教育ノ成績及教授ノ經過ヲ報告スルコト
  - 七、修學旅行ニ關スルコト
  - 八、其他生徒ノ教育ニ關係アル一切ノコト
- 第三十三條 訓育ニ關スル事務ハ全教官ノ擔任トシ生徒監ヲシテ之ヲ主掌セシム
- 生徒監ハ訓育ニ關スル事項ニ就キ關係教官ノ協議會ヲ開クコトヲ得
- 第三十四條 教授ニ關スル事務ハ學科毎ニ當該教官ノ分擔トス
- 第三十五條 教育事務整理ノ責ニ任セシムル爲メ學科主任學級主任及

指導教官ヲ置ク

第三十六條 學科主任ハ左ノ學科ニ就キ各一人トシ教官中ニ就キ校長之ヲ命ス

第一文學科 倫理、論理及心理、歷史、法學、通論、經濟、通論

第二文學科 國語及漢文

第一語學科 英語

第二語學科 獨語、羅旬語

第一理學科 數學、物理、化學

第二理學科 動物及植物、地質及鑛物

第三理學科 圖畫、測量

體操科 體操

第三十七條 學科主任ノ擔任スヘキ事務概テ左ノ如シ

一、當該學科教授ノ統一進歩ノ爲メ必要ナル處置ヲ爲スコト



- 二、 當該學科教授要目ヲ整理スルコト
  - 三、 教科用圖書ノ豫選ニ關スルコト
  - 四、 教授分擔ニ關スルコト
  - 五、 教授上必要ナル參考用圖書器械標本藥品等ヲ調査スルコト
  - 六、 其他當該學科ニ關スルコト
- 第一文學科第二文學科第一理學科及第二理學科ノ主任ハ校長ノ許可ヲ受ケ前項事務ノ一部ヲ擔任教官ニ委任スルコトヲ得
- 學科主任ハ擔任事務ニ關シ當該學科關係教官ノ協議會ヲ開クコトヲ得
- 第三十八條 學級主任ハ各學級一人トシ教官中ニ就キ校長之ヲ命ス
- 第三十九條 學級主任ハ所屬生徒ヲ統率シ校規命令ヲ實行セシメ又其學業ヲ督勵シ風紀ヲ維持シ其他當該學級ニ關スル事項ヲ臨機處理スルモノトス

- 第四十條 學級主任ノ任期ハ一箇年トス
- 第四十一條 指導教官ハ教官中ニ就キ校長之ヲ命シ全生徒ヲシテ之ニ分屬セシム但生徒又ハ父兄ニ於テ特別ノ希望ヲ申出ツルコトヲ得
- 第四十二條 指導教官ハ其擔任ニ屬スル生徒ノ品行學業健康等ニ關シ在學中絶ヘス適宜ノ指導監督ヲ加ヘ生徒ヲシテ其本分ヲ完ウセシメシコトヲ期スヘシ
- 第四十三條 指導教官ハ特ニ規定アルモノヲ除クノ外其擔任ニ屬スル生徒ヨリ本校ヘ差出スヘキ總テノ願届書ヲ審査スヘシ
- 第五章 分課事務
- 第四十四條 本校ニ生徒課、教務課、圖書課及庶務課ヲ置キ事務ヲ分掌セシム
- 第四十五條 各分課ニ課長ヲ置キ所屬職員ヲ率ヒ分掌事務整理ノ責ニ任セシム



課長ハ職員中ニ就キ校長之ヲ命ス

第四十六條 分課所屬ノ職員ハ課長ノ指揮ヲ受ケ事務ニ従事ス

第四十七條 生徒課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、 生徒ノ訓育及風紀ニ關スルコト
- 二、 生徒ノ勤惰ニ關スルコト
- 三、 生徒ノ管理、監督及訓誨、懲戒ニ關スルコト
- 四、 指導教官及學級總代ニ關スルコト
- 五、 生徒ノ學籍及兵役ニ關スルコト
- 六、 退學及休學其他生徒ノ事故ニ關スルコト
- 七、 在學證明ニ關スルコト
- 八、 生徒隊ニ關スルコト
- 九、 生徒ノ願伺届ニ關スルコト
- 一〇、 體育及運動ニ關スルコト

一一、 學校衛生ニ關スルコト

一二、 身體検査ニ關スルコト

一三、 生徒控所ニ關スルコト

一四、 卒業生ニ關スルコト

一五、 學寮ノ管理及警備ニ關スルコト

一六、 學寮當直ニ關スルコト

一七、 生徒ノ入寮退寮ニ關スルコト

第四十八條 教務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、 學科課程及教授要目ニ關スルコト
- 二、 教官ノ分擔及日課ノ配當ニ關スルコト
- 三、 授業及休業ニ關スルコト
- 四、 教科用圖書ニ關スルコト
- 五、 生徒募集及入學ニ關スルコト



- 六、 選拔試驗ニ關スルコト
  - 七、 成績考查、進級、卒業及成績證明ニ關スルコト
  - 八、 試験、檢閱及學力檢定ニ關スルコト
  - 九、 學級編制ニ關スルコト
  - 一〇、 生徒ノ修業部類及志望學科ニ關スルコト
  - 一一、 教授上ノ設備ニ關スルコト
  - 一二、 教官ノ報告ニ關スルコト
  - 一三、 教官會議ニ關スルコト
  - 一四、 修學旅行ニ關スルコト
  - 一五、 參觀人取扱ニ關スルコト
  - 一六、 教室及教官室ニ關スルコト
- 第四十九條 圖書課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一、 圖書ノ保存及整理ニ關スルコト

- 二、 圖書印ヲ管守スルコト
  - 三、 購入圖書ノ審査ニ關スルコト
  - 四、 書庫及閱覽室ニ關スルコト
  - 五、 圖書目錄編纂ニ關スルコト
  - 六、 圖書貸付ニ關スルコト
  - 七、 新聞雜誌年報一覽等ノ保存及整理ニ關スルコト
- 第五十條 庶務課ニ庶務係及會計係ヲ置ク
- 庶務係ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一、 御眞影及勅語ノ保管ニ關スルコト
  - 二、 校長ノ官印及校印ヲ管守スルコト
  - 三、 職員ノ進退及身分ニ關スルコト
  - 四、 職員ノ服務ニ關スルコト
  - 五、 雇外國人ニ關スルコト



- 六、 公文書處理ニ關スルコト
  - 七、 統計報告一覽等ニ關スルコト
  - 八、 諸規則ノ制定改廢ニ關スルコト
  - 九、 日誌及諸記錄ニ關スルコト
  - 一〇、 諸儀式ニ關スルコト
  - 一一、 校章及校旗ニ關スルコト
  - 一二、 寄贈ノ金品等ニ關スルコト
  - 一三、 事務當直ニ關スルコト
  - 一四、 各分課ノ主掌ニ屬セサル一切ノコト
- 會計係ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一、 歲入、歲出、豫算及決算ニ關スルコト
  - 二、 資金ニ關スルコト
  - 三、 金錢ノ收支及保管ニ關スルコト

- 四、 歲入、歲出及物品證明ニ關スルコト
  - 五、 物品購入及不用物品處分ニ關スルコト
  - 六、 物品ノ出納及保管ニ關スルコト
  - 七、 修繕ニ關スルコト
  - 八、 校地、校舍ニ關スルコト
  - 九、 電話、電燈、瓦斯、給水及煖爐取扱ニ關スルコト
  - 一〇、 校內一般ノ警備取締ニ關スルコト
  - 一一、 校舍内外ノ洒掃ニ關スルコト
  - 一二、 備人ノ進退及取締ニ關スルコト
  - 一三、 其他會計ニ關スル一切ノコト
- 第五十二條 各分課ノ主掌事務ニシテ他分課ニ關聯スルモノハ合議ス  
ヘシ

第五十二條 各分課所屬職員ハ常務ノ外時宜ニ依リ他ノ分課ノ事務ヲ



補助スヘシ

第六章 文書處理

第五十三條 公文書ハ第五十五條ニ依ルモノ、外總テ庶務課ニ於テ接

受シ受付簿ニ登記シ收受ノ番號及月日ヲ記入シ直ニ主掌分課ニ配付

シ取扱者ノ印ヲ徴スヘシ

二分課以上ニ關係アル文書ハ其重キニ從ヒ配付スヘシ

親展書ハ封緘ノ儘宛名ニ配付スヘシ

第五十四條 配付ヲ受ケタル文書ニシテ他ノ分課ノ主掌ニ屬スルモノ

アルトキハ庶務課ニ還付スヘシ

第五十五條 左ノ文書ハ庶務課ヲ經由セス主掌分課ニ於テ直ニ接受ス

ヘシ

一、教務ニ關シ教官ヨリ提出スル報告書類

二、生徒ヨリ差出ス願届書類

三、入學志望者受験名票

四、其他校長ノ指定シタル書類

第五十六條 配付ヲ受ケ又ハ接受シタル文書ハ速ニ之ヲ調査シ處分案

ヲ提出スヘシ

事件ノ種類ニ依リ直ニ處分案ヲ提出スル能ハス又ハ處分ヲ要セスト

認ムルトキハ校長ニ供閱シ指揮ヲ受クヘシ

第五十七條 左ノ文書ハ主掌課長限リ處分スヘシ

一、生徒ノ在學證明ニ關シ徵兵事務ニ關係ナキモノ

二、生徒ノ學業成績證明ニ關スルモノ

三、生徒ノ宿所入寮退寮及諸届出ニ關スルモノ

四、物品ノ支給ニ關スルモノ

五、一定ノ例規ニ依ルモノ

第五十八條 決裁濟ノ文書ハ主掌分課ニ於テ決裁年月日ヲ記入シ速ニ



處理ノ手續ヲ爲スヘシ

第五十九條 發送ヲ要スル文書ハ庶務課ニ回付スヘシ執務時間以外ニ發送ヲ要スル文書アルトキハ當直ニ回付スヘシ

第六十條 庶務課ニ於テハ發送文書及原議ニ番號ヲ付シ之ヲ件名簿ニ登記スヘシ

第六十一條 庶務課ニ於テ郵便電信ヲ發送シタルトキハ月日受信名發信名料金ヲ登記シ取扱主任檢印スヘシ

第六十二條 事件ノ完結シタル文書ハ第七章及第八章ニ掲クルモノ及保存期間一箇年以内ノモノヲ除ク外總テ庶務課ニ回付スヘシ第七章及第八章ニ掲クル文書ハ主掌分課ニ於テ整理シ之ヲ保存スヘシ文書ノ保存年限ハ別ニ之ヲ定ム

前項ニ依リ回付セラレタル文書ハ庶務課ニ於テ編纂シ之ヲ保存スヘシ

第六十三條 各分課ニ於テハ其保存スヘキ文書ノ編纂又ハ整理方法ヲ定メ校長ノ許可ヲ受クヘシ

第六十四條 文書處理ノ齊一整頓ヲ計ル爲メ毎年一回檢閲ヲ行フ但檢閲ハ機密書類及未完ノ文書ニ及ホサス

文書檢閲委員ハ其都度職員中ニ就キ之ヲ命ズ

### 第七章 報告

第六十五條 教育又ハ事務ニ關シ別ニ規定アルモノ、外本章ノ規程ニ依リ各主管職員ノ責任ヲ以テ報告ヲ爲ス可シ

第六十六條 報告ヲ分チテ定期報告及臨時報告トス

第六十七條 定期報告ノ種類左ノ如シ

一、週報

生徒課週報

二、月報



- 庶務課月報
- 生徒課月報
- 圖書課月報
- 三、學期報
- 教務課學期報
- 生徒課學期報
- 四、年報
- 教官年報
- 生徒監年報
- 教務課年報
- 生徒課年報
- 圖書課年報
- 庶務課年報

第六十八條 週報ハ次週水曜日マテニ、月報ハ翌月七日マテニ、學期報ハ學期末後二十五日以内ニ、教官年報ハ毎年五月三十一日マテニ、其他ノ年報ハ毎年九月二十日マテニ校長ニ提出スヘシ

第六十九條 定期報告ハ別ニ定ムル様式又ハ要項ニ依リ調製スヘシ

第七十條 教官年報ハ各學科主任ニ於テ取纏メ意見アルモノハ之ヲ附記シテ進達スヘシ

第七十一條 臨時報告ハ特ニ命令アリタル時又ハ其必要ヲ認メタル時隨時之ヲ提出スヘシ

第八章 表 簿

第七十二條 本校ニ於テハ別ニ規定アルモノ、外本章ノ規定ニ依リ表簿ヲ備フヘシ

第七十三條 生徒課ノ主管ニ屬スル表簿左ノ如シ

一、學籍簿



- 二、生徒父兄屆級
  - 三、生徒學歷級及生徒履歷書級
  - 四、生徒出席簿
  - 五、生徒寫真帖
  - 六、在寮生徒名簿
- 學籍簿ハ毎年十月十五日限整理シ校長ノ檢閲ヲ受クヘシ
- 第七十四條 教務課ノ主管ニ屬スル表簿左ノ如シ
- 一、教授要目
  - 二、各教官受持學科目及時間表
  - 三、各學級授業時間及教室配當表
  - 四、教科用圖書配當表
  - 五、生徒學業成績表
  - 六、學年曆

- 七、入學志望者受験名票
  - 八、入學者選拔試驗答案
  - 九、入學者選拔試驗成績表
  - 一〇、卒業證書臺帳
  - 一一、試驗問題
  - 一二、教官會議記錄
- 第二第三第四ノ各表ハ複本ヲ調製シ校長ニ提出スヘシ
- 學年曆ハ前學年八月末日限決裁ヲ受クヘシ
- 第七十五條 圖書課ノ主管ニ屬スル表簿左ノ如シ
- 一、圖書分類目錄
  - 二、圖書借用證書
- 第七十六條 庶務係ノ主管ニ屬スル表簿左ノ如シ
- 一、勅語謄本



- 二、職員履歷書
  - 三、命課簿
  - 四、旅行決裁簿
  - 五、誓簿
  - 六、學校一覽表
  - 七、職員出勤簿
  - 八、日誌
  - 九、事務曆
- 學校一覽表ハ毎年九月末日現在ニ依リ十月末日限調製シ其複本ヲ校長ニ提出スヘシ
- 事務曆ハ會計年度ニ依リ前年度ノ三月末日限決裁ヲ受クヘシ
- 第七十七條 會計係ノ主管ニ屬スル表簿左ノ如シ
- 一、學校平面圖

學校平面圖ハ建物、水管、瓦斯管、電線、煖爐、堀井ノ配置ヲ記入シ複本二通ヲ調製シ一通ヲ校長ニ提出シ一通ヲ庶務係ニ回付スヘシ

第九章 當直

- 第七十八條 當直勤務ハ事務當直及學寮當直トス
- 第七十九條 書記及雇員ハ輪番ヲ以テ事務當直ニ服スヘシ  
生徒課勤務ノ教官ハ輪番ヲ以テ學寮當直ニ服スヘシ
- 第八十條 本校ニ高等官ノ當直ヲ必要ト認ムル場合ニハ校長特ニ之ヲ命ス
- 第八十一條 生徒監ハ必要ニ應シ隨時學寮ニ當直スヘシ此場合ニ於テハ第七十九條第二項ノ當直者ヲ除番ス
- 第八十二條 左ノ各號ノ一ニ當ルトキハ當直ヲ免ス
  - 一、出張中、出張ノ前日、出張先ヨリ歸校ノ翌日
  - 二、病氣缺勤中



- 三、 賜暇ノ當日
  - 四、 忌引中
  - 五、 新任者著任ノ日ヨリ起算シ七日間
  - 六、 以上ノ外校長ニ於テ除番スヘキ必要アリト認メタルトキ
- 第八十三條 事務當直ノ任務ハ概ネ左ノ如シ
- 一、 校舎各室ノ鎖鑰ヲ管守スルコト
  - 二、 校舎内外ノ取締ヲナスコト
  - 三、 接受シタル物件ヲ處理スルコト
  - 四、 火災ノ虞アル場所ト器物トニ對シ特ニ注意スルコト
- 第八十四條 學寮當直ハ學寮ノ管理及取締ニ任シ寮内一切ノ事務ヲ執ルヘシ
- 第八十五條 當直者ハ勤務中學校ヲ離ル、コトヲ得ス
- 第八十六條 當直者ハ其任務ニ關シ互ニ助力ヲ求ムルコトヲ得

- 第八十七條 當直中非常事故アルトキハ直ニ報告シ事急ナルトキハ臨機ノ處置ヲ爲スヘシ
- 第八十八條 當直ノ服務ニ關スル細目ハ事務當直ニ有リテハ庶務課長學寮當直ニ有リテハ生徒監之ヲ定ムヘシ

四 物品會計規程細則

- 第一條 物品ノ保管及出納ハ物品會計規則竝ニ文部省直轄各部物品會計規程ニ基キ此細則ニ依リ處理ス
- 第二條 物品ハ備品消耗品ノ二種トシ備品ノ各室共用ニ係ルモノヲ共用備品トシ職員各自ニ專用スルモノヲ專用備品トス但備品及消耗品ノ區別ハ其性質及用法ニ依リ之ヲ定ム
- 第三條 受入物品ハ總テ物品會計官吏ニ於テ各出納簿ニ登記シタル後倉庫ニ藏置シ之カ保管ノ責ニ任スヘシ



圖書機械標本類ニ關シテハ物品會計官吏ニ於テ各出納簿ニ登記シタル後直ニ當該監守者ニ交附シ其受授ヲ明ニシ之カ監督ノ責ニ任スヘシ

第四條 各課係又ハ特別教室ニ物品監守者及物品取扱主任一人若ハ數人ヲ置キ使用物品ノ監守又ハ取扱ニ關スル責ニ任セシム但職員各自專用ノ物品ハ各自監守ノ責ニ任セシム

第五條 使用中ノ物品ハ物品會計官吏ニ於テ左ノ各號ニ依リ之ヲ監督スヘシ

一、各課係又ハ特別教室ノ消耗品受拂簿ヲ毎月消耗品支給簿ニ照查スルコト

二、毎年一回備品支給簿及消耗品支給簿ニ依リ各課係又ハ教室ニ就キ現品ヲ查閱シ各課係ノ備品監守簿及消耗品受拂簿ノ調査ヲ爲シ校長ニ報告スルコト

前項ノ場合ニ於テ物品ノ亡失毀損ヲ發見シタルトキ又ハ物品ノ使用上ニ付意見アルトキハ校長ニ申告シ其處理ヲ求ムルコト

第六條 物品會計官吏保管ノ物品ヲ亡失毀損シ又ハ規程ノ監督ヲ怠リタルトキハ校長其事實ヲ審査シ故意怠惰ニ出ツルモノハ文部大臣ニ具申ス

第七條 各課係又ハ特別教室物品監守者又ハ物品取扱主任ノ監守シ又ハ取扱フヘキ物品ノ所屬區域左ノ如シ

一、會計係 會計係校長室、食堂、應接室、小使室、及門衛室ニ屬スル物品  
並ニ他ノ監守又ハ取扱ニ屬セサル物品

二、教務課 教務課、教官室、通常教室及講堂ニ屬スル物品

三、生徒課 生徒課、生徒扣所及學寮ニ屬スル物品

四、庶務係 庶務係及宿直室ニ屬スル物品

五、圖書課 圖書課、書庫及閱覽室ニ屬スル物品